

National
Parks
of Japan



参考資料2

2025年国内外利用者に対する アンケート調査結果について

2026年3月9日（月）
環境省自然環境局国立公園課

目次

1. 目標・指標	p.3
2. 日本人向けアンケート調査の結果	p.5
3. 訪日外国人向けアンケート調査の結果	p.21
4. 日本人調査と訪日外国人調査の結果比較	p.40

1. 目標・指標

目標・指標

- 2021年以降の取組方針において、最終年である2025年の目標を設定
- 自然を満喫できる上質なツーリズムの実現とブランド化。そのための質の目標・指標を設定し、体積で考える
- 新型コロナウイルスによる影響前の国内外の利用者の復活

目標・指標

概要

	目標・指標	概要
質	満足度 推奨意向 支出額 平均泊数 認知度 リピーター率 (訪日・国内)	<ul style="list-style-type: none">■ 直近1年間で対象14公園を訪問した日本人（5000名）および訪日外国人（500名）を対象にWebモニターアンケートを実施■ 各種質の指標等を把握。各調査結果の関係性等も把握（体積で考える）■ 令和6年に「国立公園の利用に係る世論調査」が実施されたことから、関連性が高い設問については複合分析を実施 <p>【目標】定量的な目標値は設定していないが、質の指標データを踏まえて、上質なツーリズムの実現とブランド化の進捗を評価</p>

2. 日本人向けアンケート調査の結果

調査概要

調査概要

- 国立公園満喫プロジェクトの成果指標については、訪日外国人利用者数及び国内利用者数(延べ宿泊者数)に加え、自然を満喫できる質の高いツーリズムの実現に向けた「質」の指標(一人あたり消費額、リピーター率、認知度、満足度等)も定めている
- 2022年以降の調査では、日本人の国立公園訪問者を対象としたWebアンケートパネル調査により質の指標の算出を行い、一定程度、安定的にデータの回収・分析が可能であることが確認された
- 2025年の調査においては、前年の成果を踏まえて一部設問設計の改善を図りつつ、継続的な調査を実施した

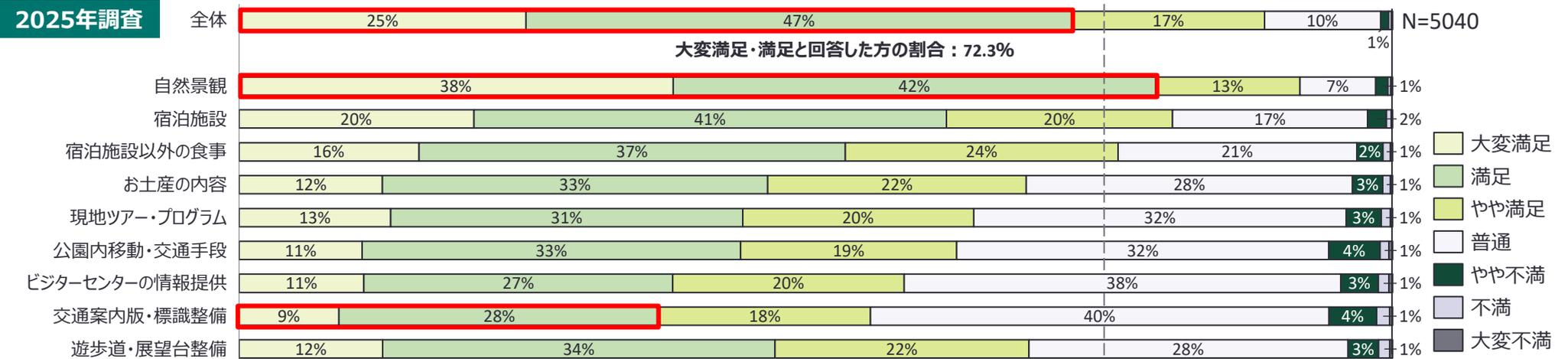
アンケート調査の仕様

	2018	2019	2020-2021	2022	2023	2024	2025
調査方法	現地型アンケート調査 (紙面回答方式 + Web回答方式)		調査非実施 期間	Webモニター型アンケート調査			
対象公園	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 		計12公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 磐梯朝日※(新規追加) 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計13公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興(新規追加) 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる(新規追加) 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる
回答者数	約7,200 票 (各公園 約200票以上)			約5,200 票 (各公園 約360~400票)			

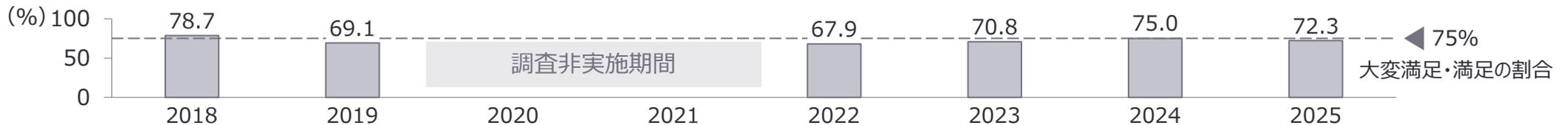
※ 支笏洞爺国立公園：支笏湖・定山溪地域のみ、磐梯朝日国立公園：磐梯吾妻・猪苗代地域のみ、富士箱根伊豆国立公園：富士山麓及び箱根地域のみ、中部山岳国立公園：南部地域（長野県松本市・岐阜県高山市）のみ

訪問中の満足度

- 滞在全体の満足度で「大変満足・満足」と回答した方は、14公園計**72.3%**となった
- 個別項目の満足度においては、「自然景観」が79.4%で最も高く、「交通案内版・標識整備」が36.5%と最も低い
- 公園別の滞在全体の満足度は、霧島錦江湾が76.9%と高く、次いで阿寒摩周が76.4%となっている



経年推移 訪問時の滞在全体の満足度（大変満足・満足の割合）は**昨年比で2.7%減少**した



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	76.4	64.4	75.0	71.1	68.9	72.5	71.9	72.5	75.8	73.1	73.9	76.9	70.3	68.9	74.1	72.3
2024	72.2	68.3	77.8	72.8	72.8	73.9	76.7	78.1	79.4	77.2	81.9	81.1	74.4	63.1	75.8	75.0
2023	67.2	63.2	70.3	71.3	68.2	68.9	73.7	77.6	75.3	75.0	75.4	74.6	-	59.4	70.8	70.8
2022	54.9	62.3	65.7	-	65.4	72.6	73.9	78.0	72.1	66.0	74.9	72.8	-	55.8	66.9	67.9
2019	66.2	67.2	66.6	-	-	65.6	55.0	81.2	63.3	59.0	72.3	75.3	-	87.9	69.5	69.1
2018	80.8	74.5	80.9	-	-	79.6	70.0	85.3	77.3	71.3	76.8	83.2	-	86.4	79.5	78.7

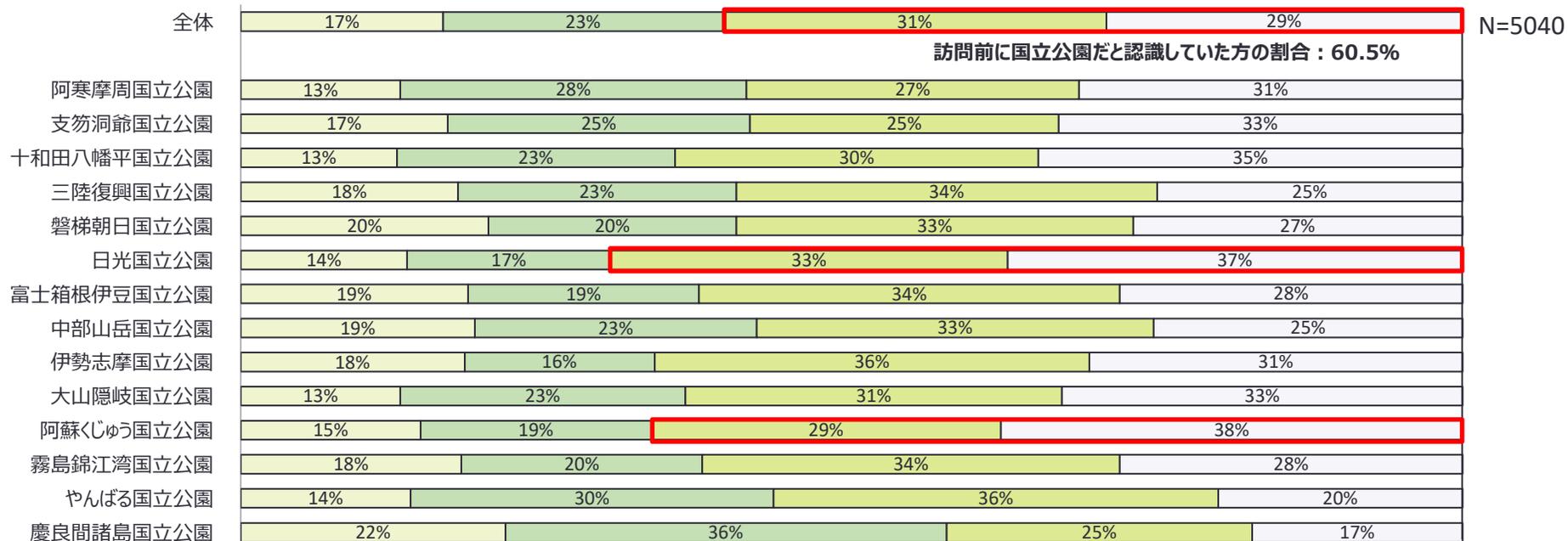
※2018~2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度
 ※満足度の個別項目において、「該当無し」と回答した方は除いて集計。各公園 N=178~360（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

国立公園としての認知度

- 訪問前に国立公園だと認識していた方は、14公園計60.5%となった
- 公園別には日光が69.7%と高く、次いで阿蘇くじゅうが66.4%となっている

2025年調査

国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



経年推移

	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	58.6	58.3	64.4	59.4	59.4	69.7	62.5	57.8	66.1	63.6	66.4	62.2	56.4	42.2	61.7	60.5
2024	62.5	59.7	64.4	56.7	57.5	67.5	63.1	63.1	61.1	66.9	71.9	62.5	57.8	46.4	62.9	61.5
2023	55.0	54.0	60.5	48.3	53.3	58.0	61.8	55.8	55.5	58.5	60.8	52.0	-	38.8	54.9	54.8

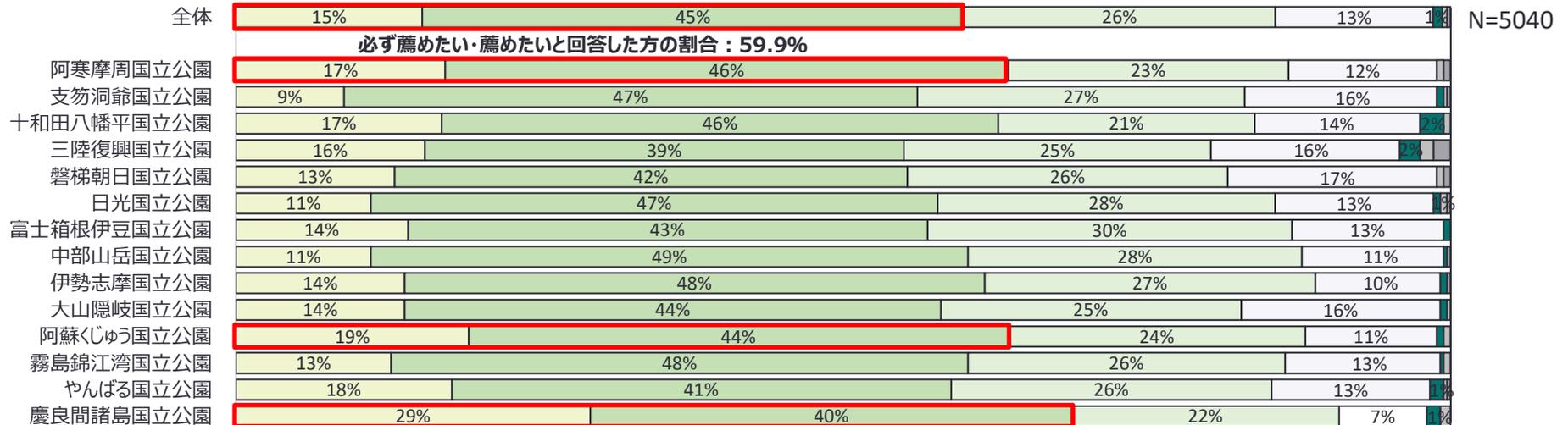
※各公園 N=360（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

友人・知人への推奨意向

- 推奨意向で「必ず薦めたい・薦めたい」と回答した方は、14公園計**59.9%**となった
- 公園別には慶良間諸島が68.9%と高く、次いで阿寒摩周と阿蘇くじゅうが63.6%となっている

2025年調査

■ 必ず薦めたい
 ■ 薦めたい
 ■ やや薦めたい
 ■ 何とも言いえない
 ■ あまり薦めない
 ■ 薦めない



経年推移

友人・知人への推奨意向（必ず薦めたい・薦めたいの割合）は、**2022年以降、60%台前半で推移している**



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	63.6	56.1	62.8	55.0	55.3	57.8	56.9	60.3	61.7	58.1	63.6	60.3	58.9	68.9	62.1	59.9
2024	59.4	53.9	68.1	63.1	61.4	56.4	61.1	63.3	61.7	62.5	73.3	63.9	66.9	70.6	64.5	63.3
2023	59.0	55.8	64.0	63.8	60.8	56.8	63.0	69.8	64.3	64.8	72.5	66.3	-	60.8	63.5	63.2
2022	57.6	57.5	65.9	-	60.3	66.8	64.6	69.6	65.1	61.2	70.0	67.8	-	65.1	64.9	64.3
2019	87.8	83.5	90.2	-	-	87.9	84.1	93.7	86.5	86.1	89.5	87.4	-	94.9	88.8	88.3
2018	89.3	87.3	94.3	-	-	92.8	88.8	91.7	95.2	89.9	93.9	90.7	-	95.5	92.7	91.8

※2018~2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度

※各公園 N=360 (サンプル数が少ないため参考値として掲載)

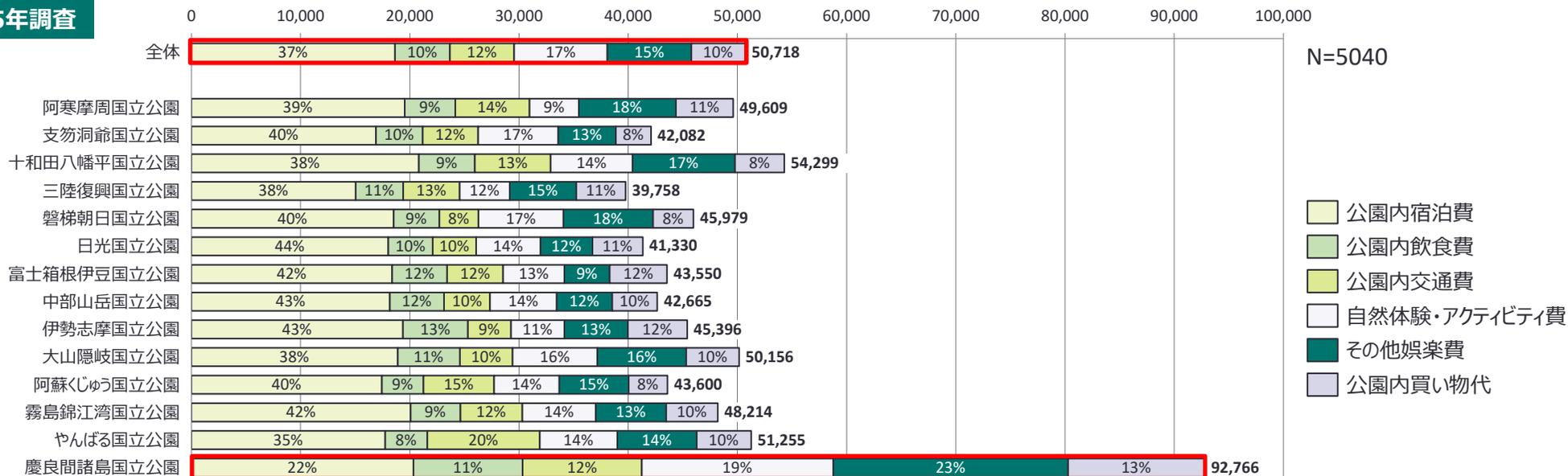
※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

日本人向けアンケート調査の結果

訪問中の支出額

- 一人当たり支出額は、14公園平均で50,718円となった
- 公園別では、慶良間諸島が92,766円と突出して高い

2025年調査



経年推移

一人当たり支出額は、昨年比で約1,000円上昇しているが、昨年と質問形式が異なっている点に留意が必要



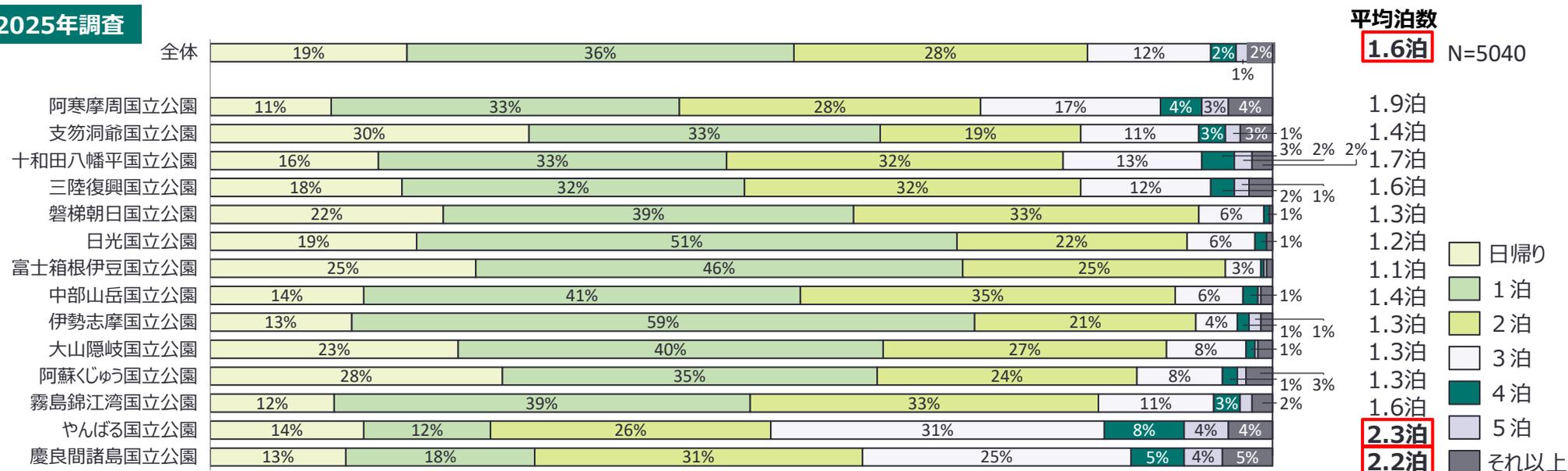
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	調査対象公園平均
2025	49,609	42,082	54,299	39,758	45,979	41,330	43,550	42,665	45,396	50,156	43,600	48,214	51,255	92,766	55,060	50,718
2024	52,007	31,646	48,451	48,201	39,410	38,292	38,583	44,014	44,410	39,354	33,118	44,354	57,368	125,410	53,174	48,901
2023	22,735	18,002	20,514	17,814	17,675	21,005	22,427	23,097	24,221	19,016	15,780	23,464	-	32,638	22,590	20,999
2022	24,842	25,583	28,337	-	23,348	23,694	25,138	26,736	32,099	25,452	22,573	26,366	-	44,003	28,421	27,711
2019	17,846	15,762	22,441	-	-	22,576	10,808	31,393	32,022	27,149	11,782	38,434	-	38,410	26,332	24,420
2018	25,889	26,348	35,086	-	-	23,777	19,415	39,312	27,729	27,661	16,132	29,715	-	38,558	28,068	28,147

※2018～2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。また、Web型へ移行している2022年以降においても、調査形式が異なる点に留意が必要（2022年・2023年は自由記述式で調査。2024年以降は選択肢形式で調査）
 ※本設問は自由記述式ではなく選択肢形式としているため、各階級値を下記のように変換して平均値を計算している
 1,000円未満→500円、1,000円～2,000円未満→1,500円、…（略）…50,000円～75,000円未満→62,500円、75,000円～100,000円未満→87,500円、100,000円以上→105,000円
 ※各公園 N=360（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所
 ※2025年調査において「その他」項目の回答者が著しく少なかったため、上記表では過年調査も含めて「その他」項目の値を除外した値を記載

平均泊数

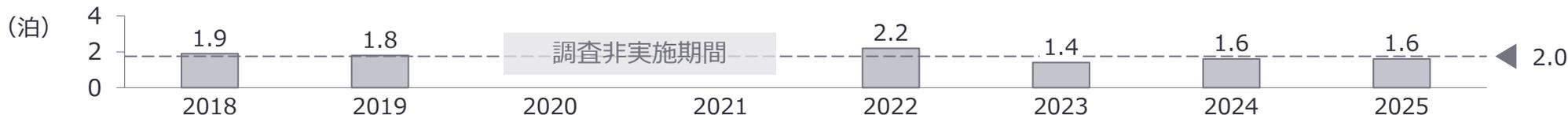
- 国立公園における平均泊数は、14公園平均で**1.6泊**となった
- 公園別では、やんばるが平均2.3泊、次いで慶良間諸島が平均2.2泊と高い

2025年調査



経年推移

平均宿泊日数は、**2023年以降同水準で推移**している。**2022、2023年とは調査設問内容が異なっている点に留意が必要**

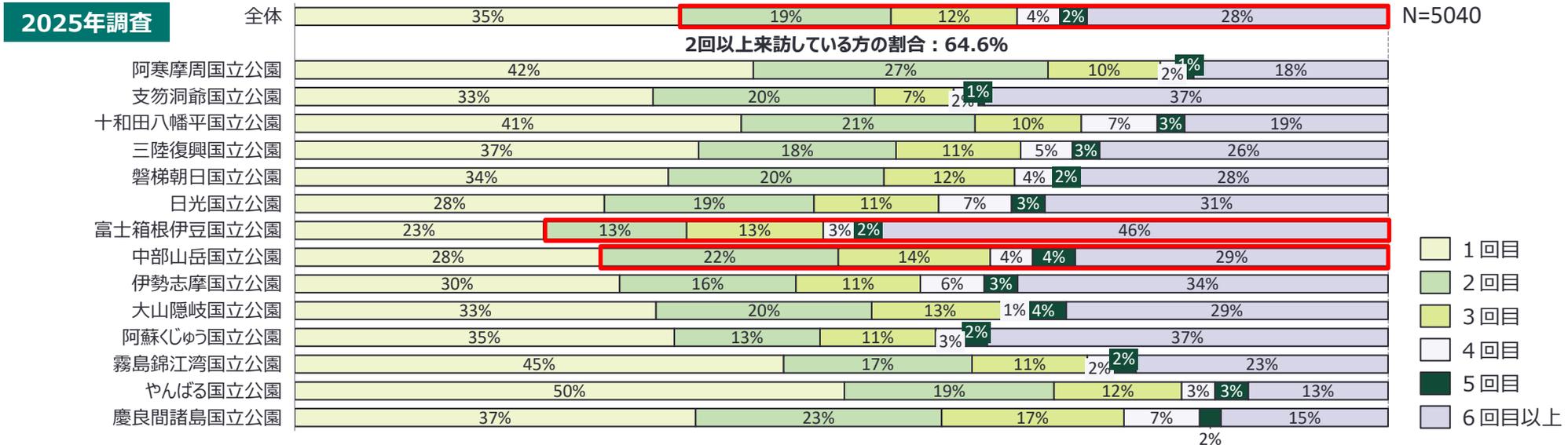


	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	1.9	1.4	1.7	1.6	1.3	1.2	1.1	1.4	1.3	1.3	1.3	1.6	2.3	2.2	1.6	1.6
2024	2.0	1.3	1.7	1.7	1.3	1.0	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	1.8	2.3	2.3	1.6	1.6
2023	1.4	1.2	1.5	1.2	1.3	1.3	1.2	1.5	1.2	1.3	1.2	1.4	-	2.0	1.4	1.4
2022	1.4	3.4	1.9	-	2.4	3.5	2.2	2.6	2.3	1.6	1.6	1.9	-	1.5	2.0	2.2
2019	2.1	2.0	1.6	-	-	1.5	1.5	1.6	1.3	1.6	1.6	2.2	-	3.3	1.9	1.8
2018	2.5	1.9	2.0	-	-	1.5	1.2	1.9	1.2	1.9	1.8	1.9	-	3.3	2.0	1.9

※2018~2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。また、Web型へ移行している2022年以降においても、それぞれ設問内容が異なる点に留意が必要（2022年・2023年は自由記述式で調査。2024年以降は選択肢形式で調査）
 ※本設問は自由記述式ではなく選択肢形式としているため、各階級値を下記のように変換して平均値を計算している日帰り→0泊、1泊→1泊、…（略）…5泊→5泊、それ以上 → 6泊
 ※各公園 N=360（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

リピーター率

- 国立公園におけるリピーター率は、14公園平均で64.6%となった
- 公園別には富士箱根伊豆が77.2%と高く、次いで中部山岳が71.9%となっている



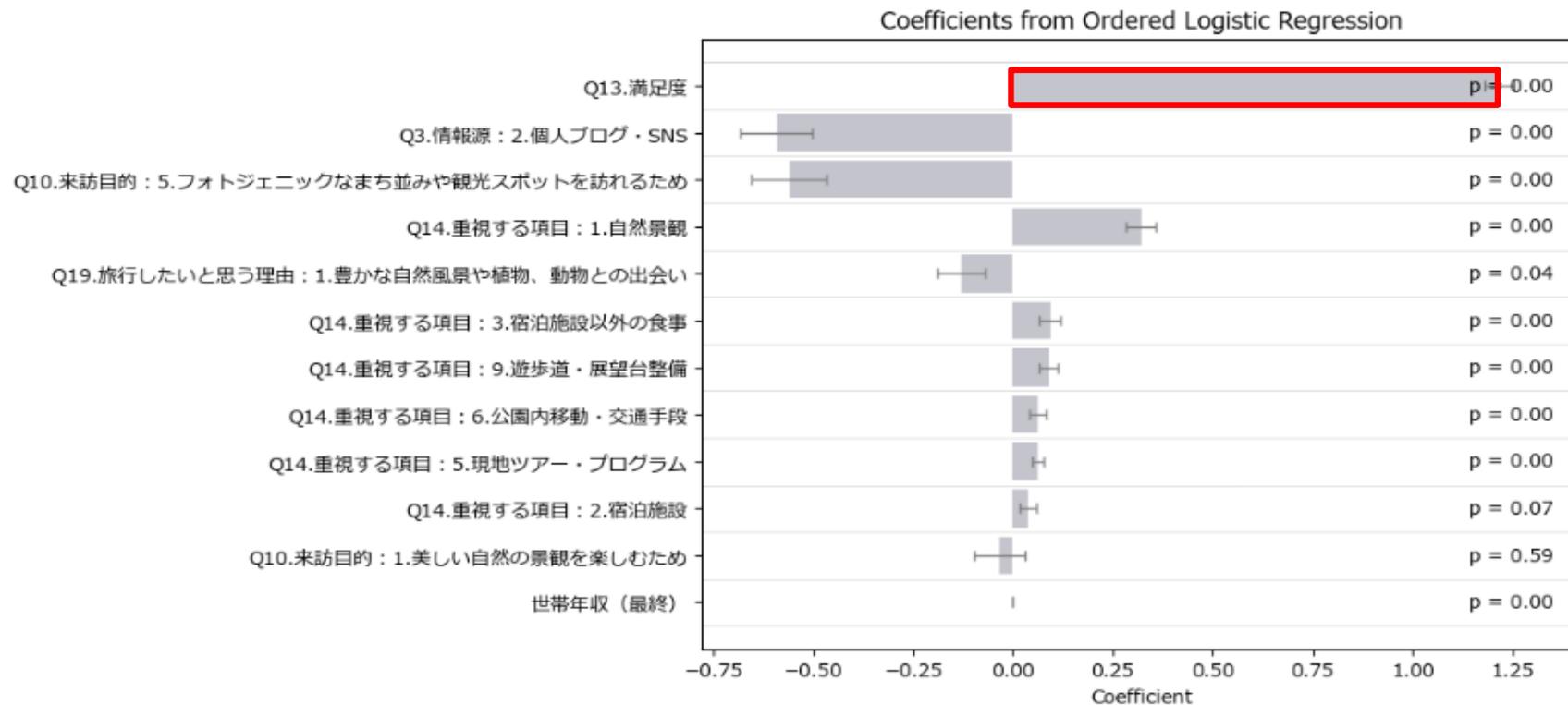
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	58.1	67.2	59.2	63.1	65.8	71.7	77.2	71.9	70.3	66.9	65.3	55.3	49.7	63.3	63.8	64.6
2024	48.9	67.2	58.3	56.9	65.3	69.4	80.6	69.2	71.9	70.6	70.8	60.8	46.1	67.2	64.8	64.5
2023	48.3	58.3	55.8	49.3	64.8	72.8	80.3	67.3	68.5	66.5	66.0	48.3	-	61.0	60.9	62.1
2022	56.5	64.9	60.5	-	72.2	76.8	81.3	67.5	74.5	71.2	74.1	61.5	-	50.0	65.6	67.2
2019	63.9	66.6	58.8	-	-	82.7	80.8	71.1	57.7	46.4	58.6	42.1	-	52.1	57.8	61.9
2018	58.7	65.0	66.0	-	-	83.2	91.5	67.8	56.0	48.3	68.5	45.7	-	52.3	59.8	63.8

※2018~2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度
 ※リピーター率：2回以上来訪している方の割合
 ※各公園 N=360 (サンプル数が少ないため参考値として掲載)
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

回帰分析結果 推奨意向（順序ロジスティック回帰分析）

- 推奨意向は、順位尺度で評価しているため、順序ロジスティック回帰モデルで分析
- 満足度が、推奨意向に最も影響を与えている

「推奨意向」に対する各説明変数の回帰係数



補足)

- 回帰係数（横軸）は、各説明変数（縦軸）と推奨意向との関連の方向性および相対的な大きさを示している
- 図中では、横軸の0を基準に、右方向は正の影響、左方向は負の影響を示し、線の長さは影響の大きさを表している

※推奨意向は“必ず薦めたい～絶対薦めない”までの7段階で調査しているため、順序ロジスティック回帰分析を採用している

※説明変数には、公園毎に個別の内容を問う設問、及びQ13と回答傾向が重複する設問以外の、全設問項目を採用。その上で、前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は説明変数から除外している

※後退除去法（全説明変数を入れたモデルから統計的に有意でない変数を除外していく変数選択手法）により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）

回帰分析結果 滞在・宿泊日数（重回帰分析）

- 滞在・宿泊日数には、自家用車・レンタカーの利用有無が強く影響していることが示された
- 自家用車・レンタカー（乗り換えなし）を利用した来訪者は、それ以外の方と比べて0.79日滞在日数が長い

「滞在・宿泊日数」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.76 自由度調整済決定係数：0.76

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：7.TVメディアでの紹介	0.57	0.07	8.06	0.00	0.43	0.71
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやパック旅行）	0.64	0.06	10.05	0.00	0.52	0.77
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	0.47	0.12	3.91	0.00	0.24	0.71
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー（乗り換えなし）	0.79	0.04	19.01	0.00	0.71	0.87
Q6.交通手段：2.自家用車・レンタカー（乗り換えあり）	0.84	0.08	11.21	0.00	0.69	0.99
Q6.交通手段：3.自転車（レンタル含む）	0.41	0.11	3.71	0.00	0.19	0.63
Q6.交通手段：4.タクシー	0.53	0.09	5.86	0.00	0.35	0.71
Q6.交通手段：7.無料送迎バス	0.37	0.09	3.98	0.00	0.19	0.55
Q6.交通手段：10.船舶（フェリー、水上バスなど）	0.45	0.11	4.28	0.00	0.25	0.66
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	0.44	0.07	5.98	0.00	0.30	0.59
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	0.33	0.09	3.53	0.00	0.15	0.51
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	0.28	0.06	4.62	0.00	0.16	0.39
Q10.来訪目的：11.友人や親族に会うため	0.25	0.10	2.57	0.01	0.06	0.44
Q14.重視する項目：2.宿泊施設	0.07	0.01	5.82	0.00	0.05	0.10
Q14.重視する項目：5.現地ツアー・プログラム	0.08	0.01	7.40	0.00	0.06	0.11
Q14.重視する項目：7.ビジターセンターの情報提供	0.16	0.01	13.01	0.00	0.13	0.18
Q12.一人当たり支出額	0.00	0.00	16.43	0.00	0.00	0.00

補足)

- 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、滞在・宿泊日数がどの程度増加するかを表す指標
- t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

回帰分析結果 一人当たり支出額（重回帰分析）

- 一人当たり支出額は滞在・宿泊日数に最も影響され、1泊延びると3,904円支出が増加する
- また、ライドシェアや路面電車（トラム）やモノレールを使用した来訪者も支出額が高い傾向

「一人当たり支出額」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.44 自由度調整済決定係数：0.44

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	2742.85	798.35	3.44	0.00	1177.74	4307.96
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（テラーメイドの受注型企画旅行）	11020.00	2160.20	5.10	0.00	6781.23	15300.00
Q6.交通手段：2.自家用車・レンタカー（マイカー規制による乗り換えあり）	3602.99	1315.09	2.74	0.01	1024.84	6181.15
Q6.交通手段：3.自転車（レンタル含む）	6354.94	1978.39	3.21	0.00	2476.42	10200.00
Q6.交通手段：4.タクシー	10170.00	1609.62	6.32	0.00	7018.54	13300.00
Q6.交通手段：5.ライドシェア	19810.00	3352.01	5.91	0.00	13200.00	26400.00
Q6.交通手段：8.鉄道・地下鉄	2661.18	1019.19	2.61	0.01	663.13	4659.23
Q6.交通手段：9.路面電車（トラム）やモノレール	16730.00	2938.55	5.69	0.00	11000.00	22500.00
Q6.交通手段：10.船舶（フェリー、水上バスなど）	12800.00	1911.59	6.69	0.00	9048.55	16500.00
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	3529.99	954.52	3.70	0.00	1658.71	5401.26
Q10.来訪目的：3.野生動植物を観察するため	3234.70	1330.47	2.43	0.02	626.41	5842.99
Q10.来訪目的：4.自然体験ガイドツアーに参加するため	4672.63	1640.45	2.85	0.00	1456.62	7888.63
Q10.来訪目的：6.地域の生活・文化・歴史に触れるため	2495.84	965.78	2.58	0.01	602.50	4389.19
Q10.来訪目的：7.温泉・サウナを楽しむため	5685.24	801.14	7.10	0.00	4114.66	7255.81
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	9001.43	1074.37	8.38	0.00	6895.19	11100.00
Q10.来訪目的：9.地域ならではの食事を楽しむため	3706.44	977.99	3.79	0.00	1789.14	5623.74
Q10.来訪目的：10.リラックスしてゆっくりと過ごすため	1907.10	812.47	2.35	0.02	314.31	3499.89
Q10.来訪目的：11.現地に在住又は滞在している友人や親族に会うため	5945.98	1747.28	3.40	0.00	2520.54	9371.42
Q14.重視する項目：2.宿泊施設	-934.45	169.05	-5.53	0.00	-1265.87	-603.03
Q7.滞在・宿泊日数	3903.92	217.44	17.95	0.00	3477.64	4330.20

補足)

- ・ 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、一人当たり支出額がどの程度増加するかを表す指標
- ・ t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

回帰分析結果 訪問回数（重回帰分析）

- 訪問回数は、交通手段として自家用車・レンタカーを選択できる来訪者ほど増える傾向がある
- また、「登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うこと」を来訪目的にあげるかどうかにも影響される

「訪問回数」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.71 自由度調整済決定係数：0.71

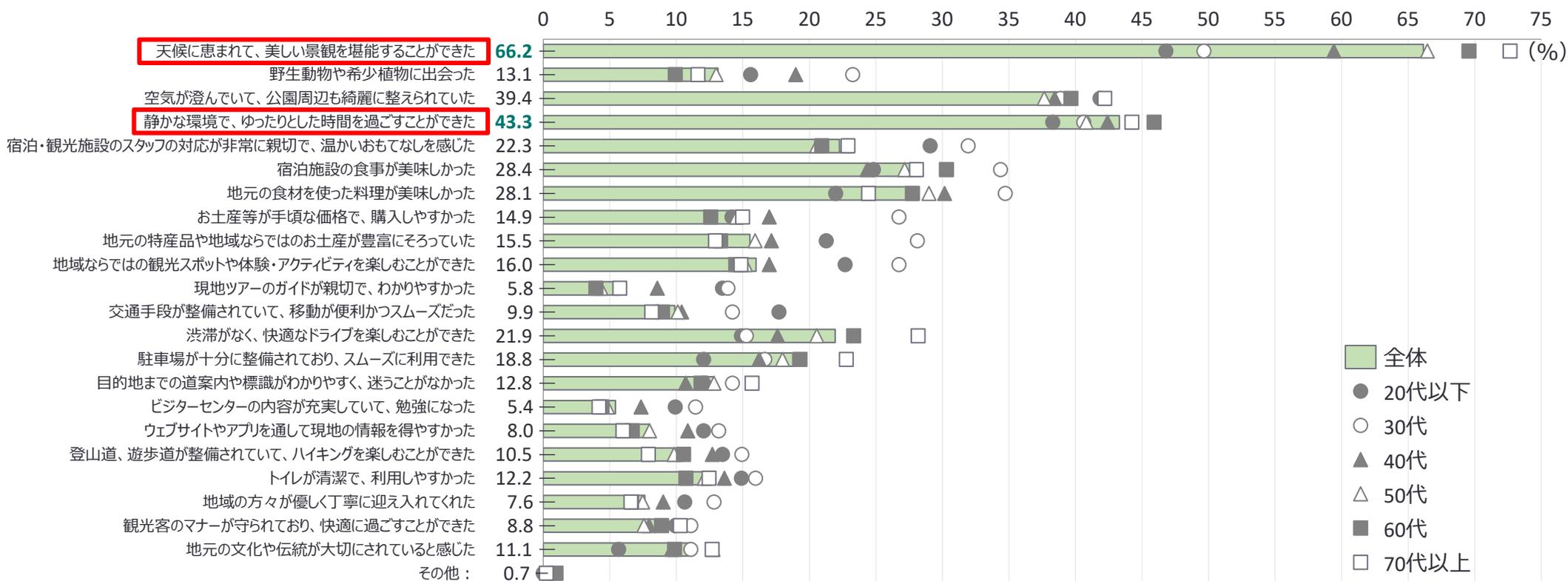
説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：3.地域・施設の公式サイト	0.37	0.06	5.83	0.00	0.25	0.50
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	0.41	0.06	7.25	0.00	0.30	0.53
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー（乗り換えなし）	1.12	0.06	17.52	0.00	0.99	1.24
Q6.交通手段：6.バス（市バス、観光バスなど）	0.37	0.08	4.76	0.00	0.22	0.52
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	0.78	0.07	10.53	0.00	0.64	0.93
Q10.来訪目的：7.温泉・サウナを楽しむため	0.47	0.06	7.35	0.00	0.34	0.59
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	0.41	0.08	4.88	0.00	0.24	0.57
Q10.来訪目的：10.リラックスしてゆっくりと過ごすため	0.45	0.06	7.03	0.00	0.32	0.57
Q14.重視する項目：5.現地ツアー・プログラム	0.15	0.02	9.49	0.00	0.12	0.18
Q14.重視する項目：7.ビジターセンターの情報提供	0.12	0.02	7.15	0.00	0.09	0.16
Q13.満足度	0.09	0.03	3.56	0.00	0.04	0.14

補足)

- 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、訪問回数などの程度増加するかを表す指標
- t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

特に満足したこと

- 特に満足したこととして、美しい景観を挙げた割合は全体で約66%に達しており、年代が高いほど当該項目の選択率が高い
- 次いで、「静かな環境で、ゆったりとした時間を過ごすこと」に対する満足度が高い傾向にある

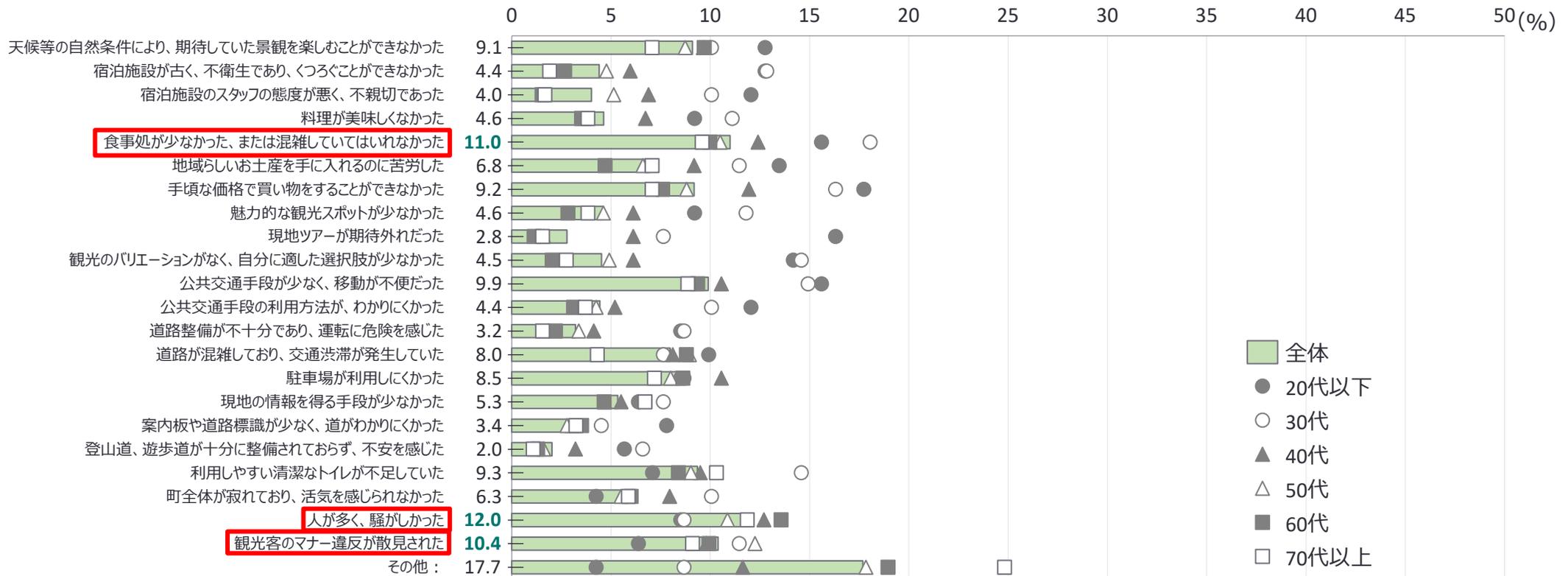


N=5040

※回答は、自由記述式ではなく複数選択式（選択肢は、前年の自由記述式の結果を踏まえて作成）

改善要望

- 改善要望については、食事処の少なさや混雑具合及びマナー違反に関する項目で割合が高い傾向にある
- これらの結果から、受入環境の改善に係る課題が累積している可能性が示唆される



N=5040

※その他：その他を選択した271名の方のうち、78%にあたる211名は「特になし」と回答
 ※「特になし」の全体における割合：17.7*0.78=13.8%
 ※回答は、自由記述式ではなく複数選択式（選択肢は、前年の自由記述式の結果を踏まえて作成）

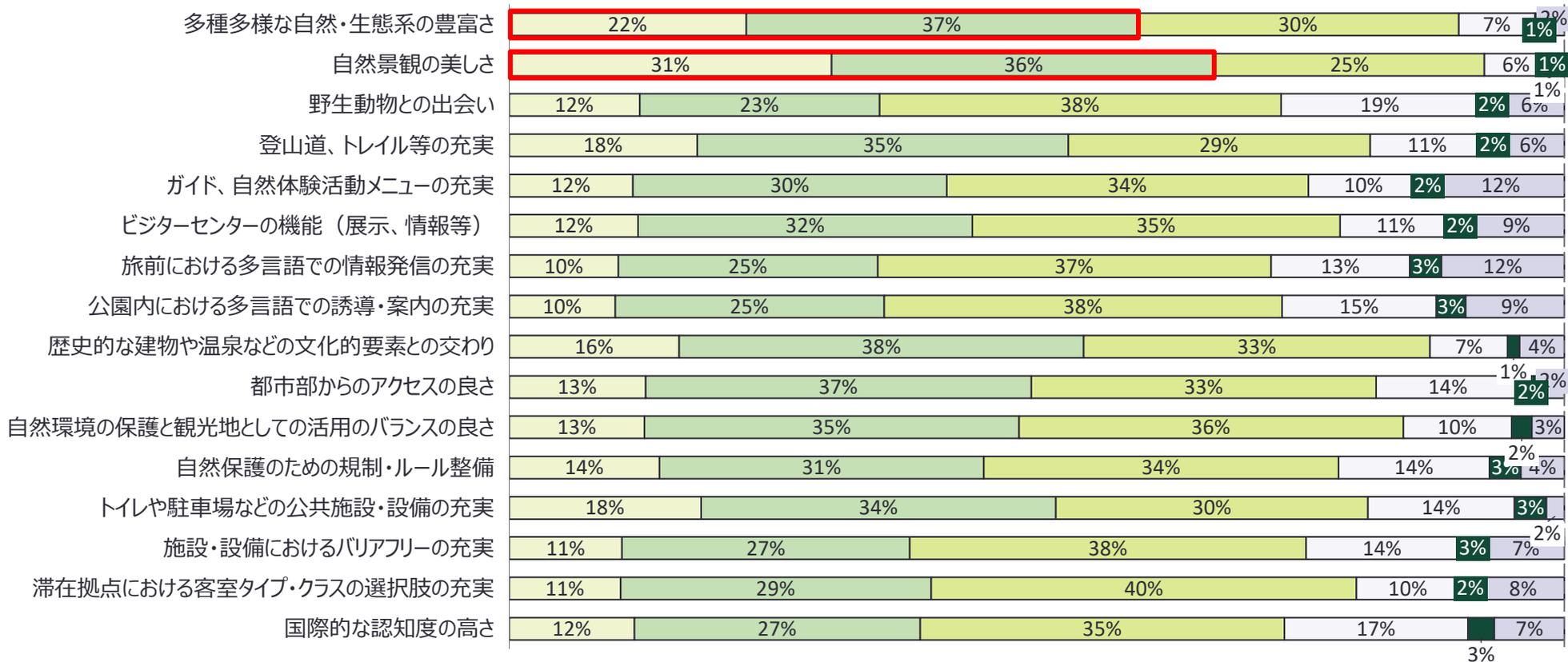
日本の国立公園の印象

■ 海外の国立公園と比較した場合、日本の国立公園は自然景観の美しさや自然・生態系の豊富さ等において、「非常に良い」又は「どちらかといえば良い」と回答した割合が高い傾向にある

海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象に関する調査結果

非常に良い
 どちらかといえば良い
 普通
 どちらかといえば悪い
 非常に悪い
 わからない

N=5040



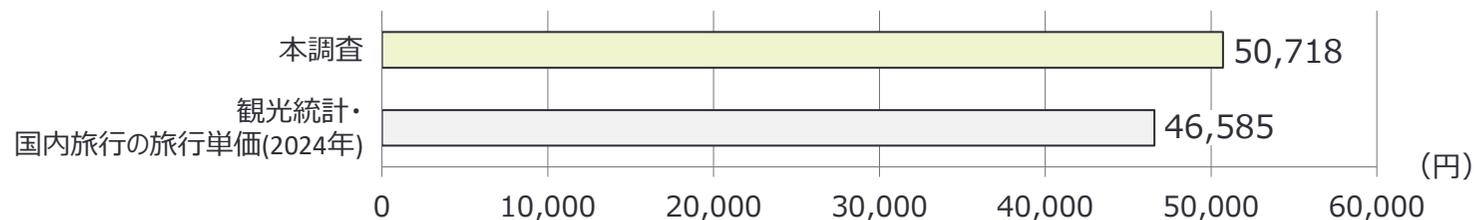
※海外各地域のいずれかの国立公園に対して、「来訪経験がある」と回答した方を対象として調査

【参考】類似の統計調査との結果比較

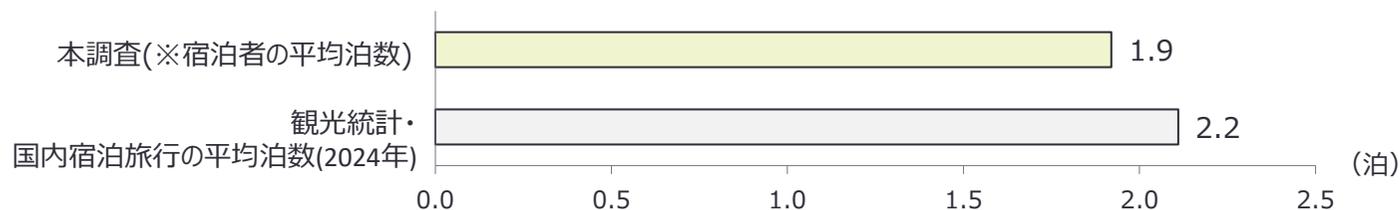
- 結果の妥当性検証のために、調査結果について観光統計データとの比較を実施
- 観光統計データと比較すると、平均泊数はやや少ないが平均支出額は高く、1日当たりの消費単価は国立公園エリアの方が高い

【観光統計との結果比較】

支出額



滞在・宿泊日数



3. 訪日外国人向けアンケート調査の結果

調査概要

調査概要

- 訪日外国人向け調査は、2023年より日本人向け調査と同様にWebアンケートパネル調査による質の指標の収集・分析を開始している
- 2025年の調査においては、前年の成果を踏まえて一部設問設計の改善を図りつつ、継続的な調査を実施した

アンケート調査の仕様

	2018	2019	2020-2022	2023	2024	2025
調査方法	現地型アンケート調査 (紙面回答方式 + Web回答方式)		調査非実施 期間	Webモニター型アンケート調査		
対象国籍	英語・韓国語・中国語で回答可能な方			アジア：韓国、香港、台湾、中国、タイ、シンガポール 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、フランス、ドイツ		
対象公園	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計11公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 		計13公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興(新規追加) 磐梯朝日※(新規追加) 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる(新規追加) 	計14公園 <ul style="list-style-type: none"> 阿寒摩周 支笏洞爺※ 十和田八幡平 三陸復興 磐梯朝日※ 日光 富士箱根伊豆※ 中部山岳※ 伊勢志摩 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島 やんばる
回答者数	約3,700 票 (各公園 約100票以上)			約550票 (各公園 約36~50票)		

※支笏洞爺国立公園：支笏湖・定山渓地域のみ、磐梯朝日国立公園：磐梯吾妻・猪苗代地域のみ、富士箱根伊豆国立公園：富士山麓及び箱根地域のみ

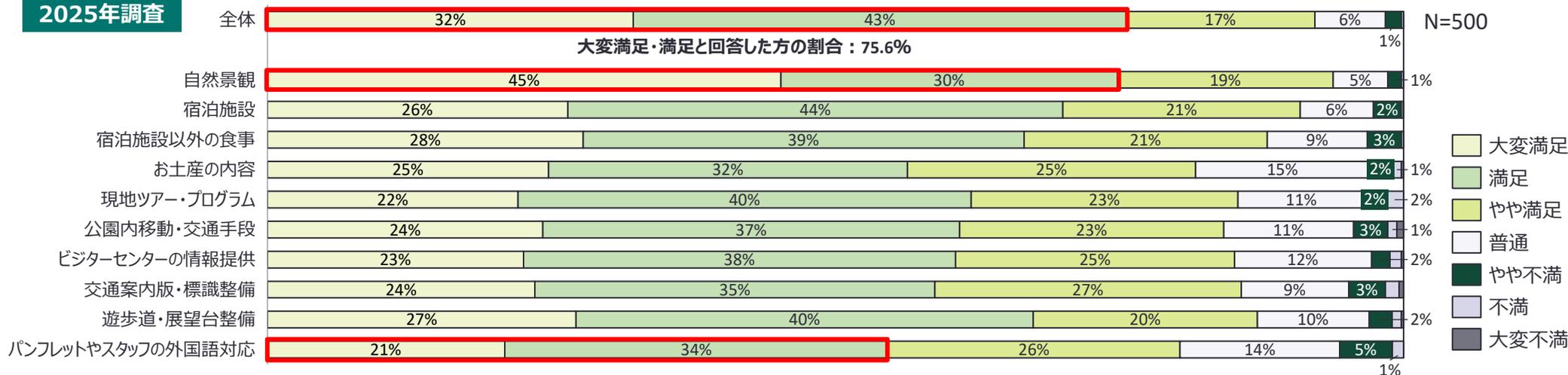
※中部山岳国立公園：南部地域（長野県松本市・岐阜県高山市）のみ

※統計調査では、信頼水準95%・許容誤差±5%が一般的な基準となっており、これらを満たすサンプルサイズが384とされているため、本調査結果は統計的に有意と判断可能

訪問中の満足度

- 滞在全体の満足度で「大変満足・満足」と回答した方は、**14公園計75.6%**となった
- 個別項目の満足度においては、「自然景観」が74.8%で最も高く、「パンフレットやスタッフの多言語対応」が54.6%と最も低い
- 公園別の滞在全体の満足度は、慶良間諸島が88.9%と高く、次いで支笏洞爺が83.3%となっている

2025年調査



経年推移

訪問時の滞在全体の満足度（大変満足・満足の割合）は**昨年比2.5%上昇**しており、**一定の評価**を得ている



	阿寒 摩周	支笏 洞爺	十和田 八幡平	三陸 復興	磐梯 朝日	日光	富士箱根 伊豆	中部 山岳	伊勢 志摩	大山 隠岐	阿蘇 くじゅう	霧島 錦江湾	やん ばる	慶良間 諸島	8公園 平均	14公園 平均
2025	72.2	83.3	77.8	74.3	69.4	80.6	77.8	77.1	77.8	80.0	55.6	71.4	72.2	88.9	75.5	75.6
2024	73.7	82.1	71.1	65.0	71.1	78.6	79.6	71.1	73.7	58.3	68.4	69.2	89.5	69.4	70.3	73.1
2023	77.5	80.6	78.7	66.7	71.2	86.7	81.6	83.3	85.7	84.9	76.7	77.4	-	77.9	80.7	79.9
2019	85.5	85.5	87.4	-	-	86.1	87.4	90.7	84.8	65.2	84.9	81.6	-	91.2	83.3	84.6
2018	92.1	89.3	88.3	-	-	88.8	82.8	92.1	89.5	84.5	82.0	79.1	-	88.3	86.6	87.0

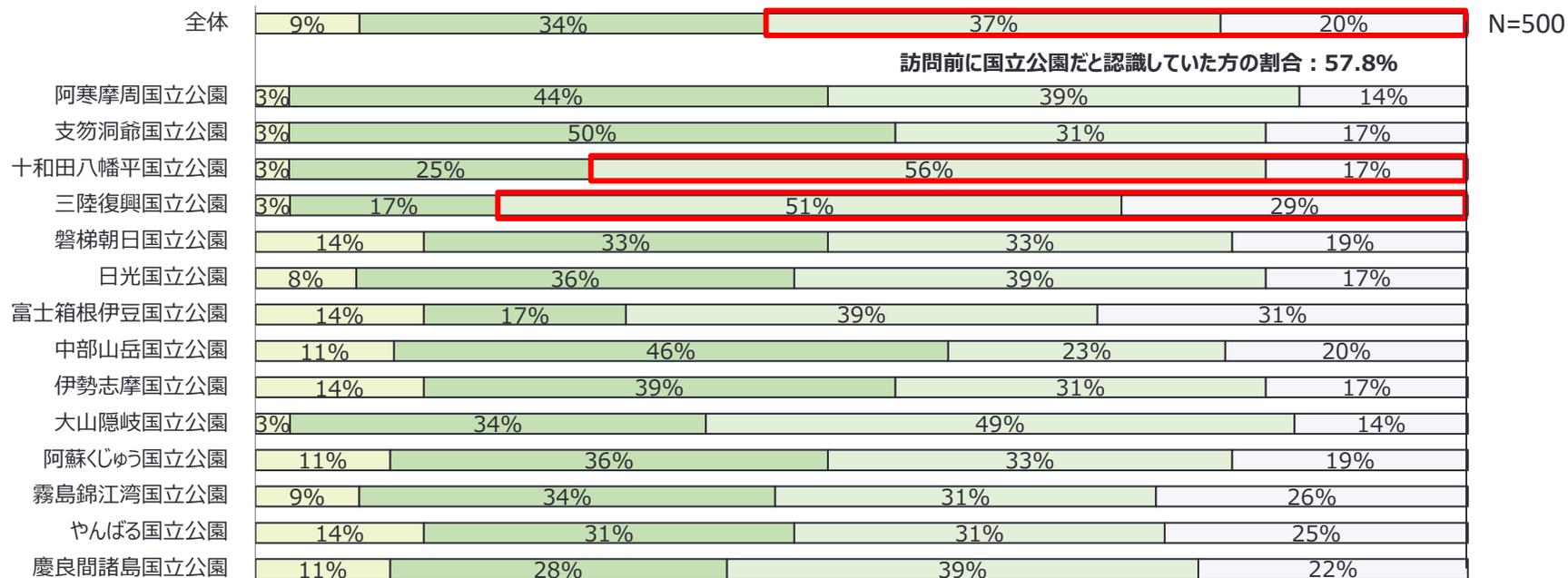
※2018~2019年調査と2023年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度
 ※満足度の個別項目において、「該当無し」と回答した方は除いて集計。各公園 N=28~36 (サンプル数が少ないため参考値として掲載)
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

国立公園としての認知度

- 訪問前に国立公園だと認識していた方は、**14公園計57.8%**となった
- 公園別には三陸復興が80.0%と高く、次いで十和田八幡平が72.2%となっている

2025年調査

国立公園だと知らなかった（たった今この調査で知った）
 訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った
 訪問した際に、現地の案内サインやガイド、宿の情報などで知った
 旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた



経年推移

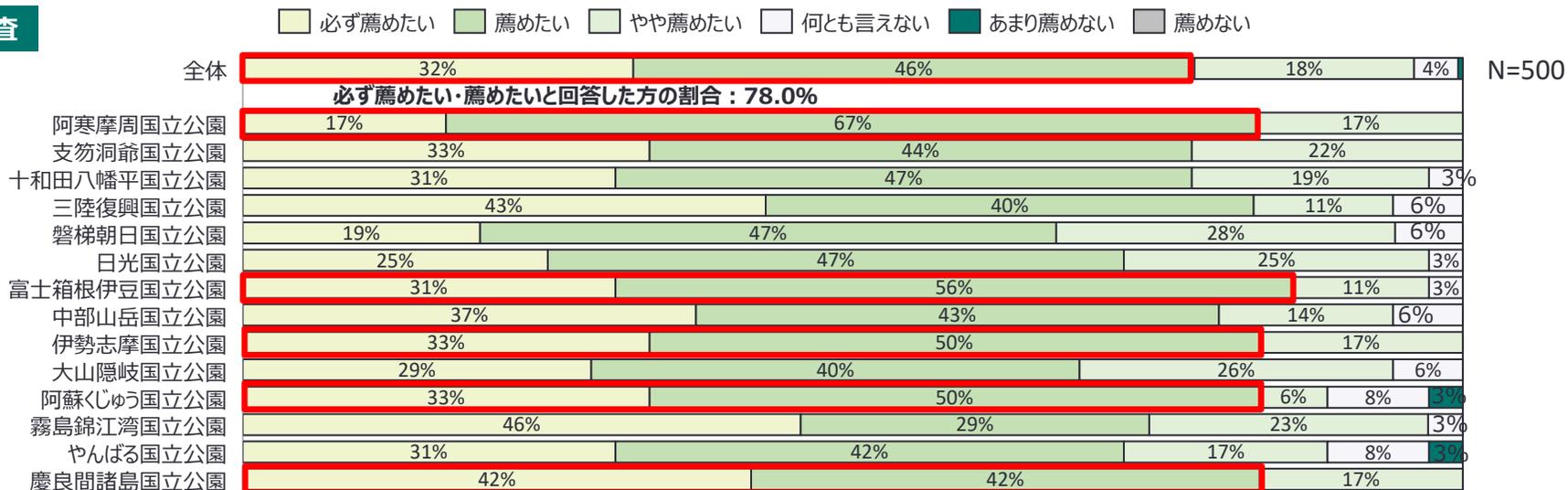
	阿寒 摩周	支笏 洞爺	十和田 八幡平	三陸 復興	磐梯 朝日	日光	富士箱根 伊豆	中部 山岳	伊勢 志摩	大山 隠岐	阿蘇 くじゅう	霧島 錦江湾	やん ばる	慶良間 諸島	8公園 平均	14公園 平均
2025	52.8	47.2	72.2	80.0	52.8	55.6	69.4	42.9	47.2	62.9	52.8	57.1	55.6	61.1	57.7	57.8
2024	53.8	51.3	71.1	63.4	65.8	66.7	65.3	78.9	60.5	63.9	63.2	61.5	57.9	75.0	64.5	64.2
2023	57.7	62.0	45.9	44.4	41.8	58.7	61.7	55.4	49.0	55.6	50.0	45.3	-	56.7	52.4	52.6

※各公園 N=34~36（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

友人・知人への推奨意向

- 推奨意向で「必ず薦めたい・薦めたい」と回答した方は、14公園計**78.0%**となった
- 公園別には富士箱根伊豆が86.1%と高く、次いで阿寒摩周・伊勢志摩・阿蘇くじゅう・慶良間諸島が83.3%となっている

2025年調査



経年推移

友人・知人への推奨意向（必ず薦めたい・薦めたいの割合）は、**2023年以降、80%台前半で推移**している



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	83.3	77.8	77.8	82.9	66.7	72.2	86.1	80.0	83.3	68.6	83.3	74.3	72.2	83.3	78.3	78.0
2024	76.9	84.6	86.8	68.3	81.6	83.3	77.6	84.2	89.5	72.2	81.6	89.7	81.6	83.3	82.9	81.4
2023	87.0	84.0	78.7	88.9	77.6	80.4	87.4	83.7	81.6	74.1	73.7	79.2	-	81.4	79.5	82.3
2019	92.5	93.1	91.5	-	-	93.3	94.0	95.0	90.0	71.7	90.2	83.4	-	97.0	88.7	90.2
2018	95.6	93.6	96.2	-	-	95.8	97.2	97.0	94.4	93.2	94.2	85.2	-	95.3	93.7	94.3

※2018~2019年調査と2023年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度

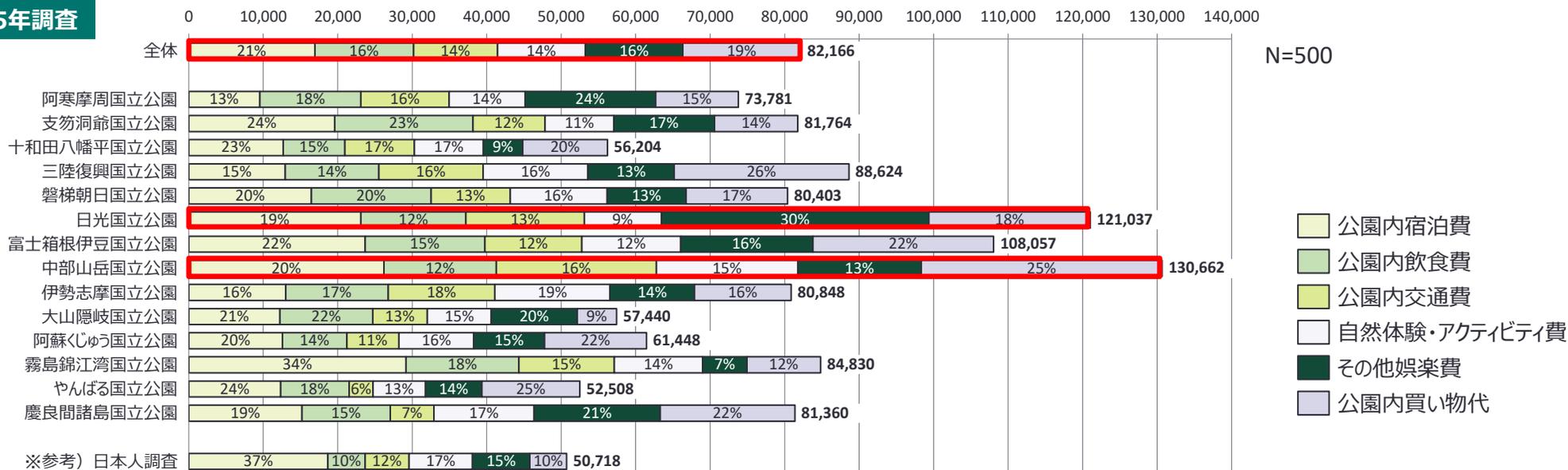
※各公園 N=34~36 (サンプル数が少ないため参考値として掲載)

※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

訪問中の支出額

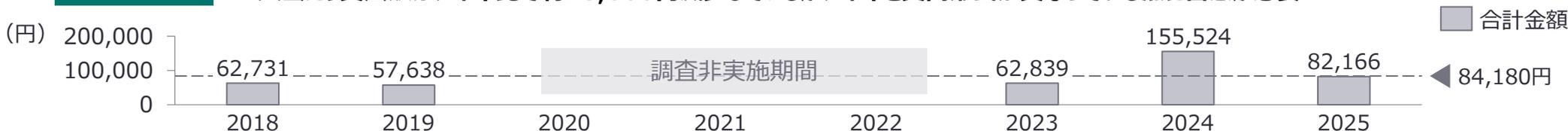
- 一人当たり支出額は、14公園平均で82,166円となった
- 公園別では、中部山岳が130,662円と突出して高く、次いで日光が121,037円となっている

2025年調査



経年推移

一人当たり支出額は、昨年比で約73,000円減少しているが、昨年と質問形式が異なっている点に留意が必要



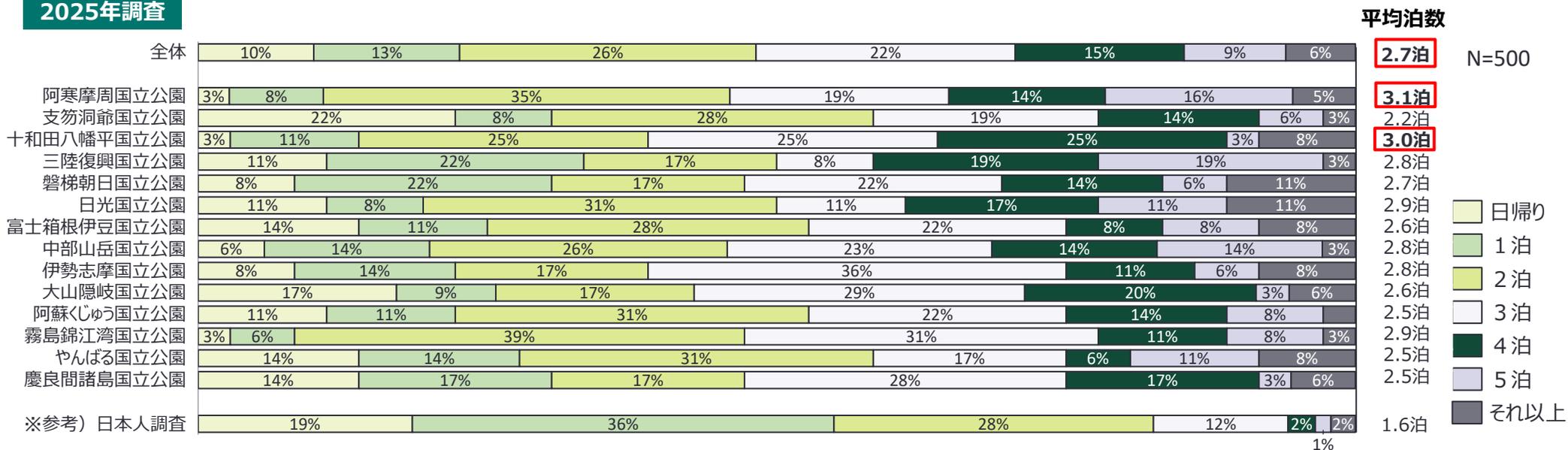
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	調査対象公園平均
2025	73,781	81,764	56,204	88,624	80,403	121,037	108,057	130,662	80,848	57,440	61,448	84,830	52,508	81,360	75,761	82,166
2024	125,385	129,680	164,737	148,963	189,014	142,322	82,653	179,079	166,185	174,792	228,027	181,474	153,684	135,070	164,510	155,524
2023	80,391	75,473	70,258	54,305	53,284	51,384	73,650	64,544	61,204	61,944	50,911	58,122	-	59,373	61,699	62,839
2019	63,001	54,555	59,893	-	-	35,947	33,965	55,181	81,751	83,611	41,393	91,730	-	32,993	61,290	57,638
2018	66,951	74,953	61,464	-	-	30,882	64,765	65,005	67,203	60,614	64,547	100,631	-	33,018	60,664	62,731

※2018～2019年調査と2022年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。また、Web型へ移行している2022年以降においても、調査形式が異なる点に留意が必要（2023年は自由記述式で調査。2024年以降は選択肢形式で調査）
 ※本設問は自由記述式ではなく選択肢形式としているため、各階級値を下記のように変換して平均値を計算している
 1,000円未満→500円、1,000円～2,000円未満→1,500円、…（略）…50,000円～75,000円未満→62,500円、75,000円～100,000円未満→87,500円、100,000円以上→105,000円
 ※各公園 N=34～36（サンプル数が少ないため掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所
 ※2025年調査において「その他」項目の回答者が著しく少なかったため、上記表では過年調査も含めて「その他」項目の値を除外した値を記載

平均泊数

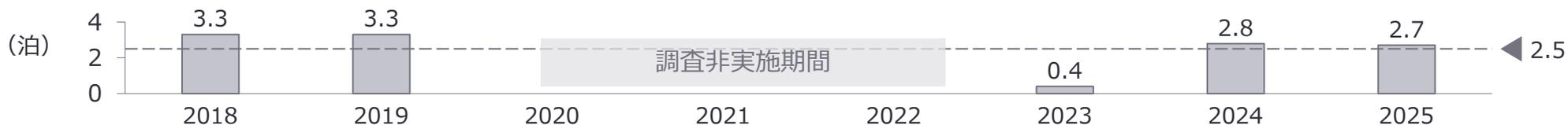
- 国立公園における平均泊数は、14公園平均で2.7泊となった
- 公園別では、阿寒摩周が平均3.1泊、次いで十和田八幡平が平均3.0泊と高い

2025年調査



経年推移

平均宿泊日数は、昨年と同水準で推移している。2023年とは調査設問内容が異なっている点に留意が必要



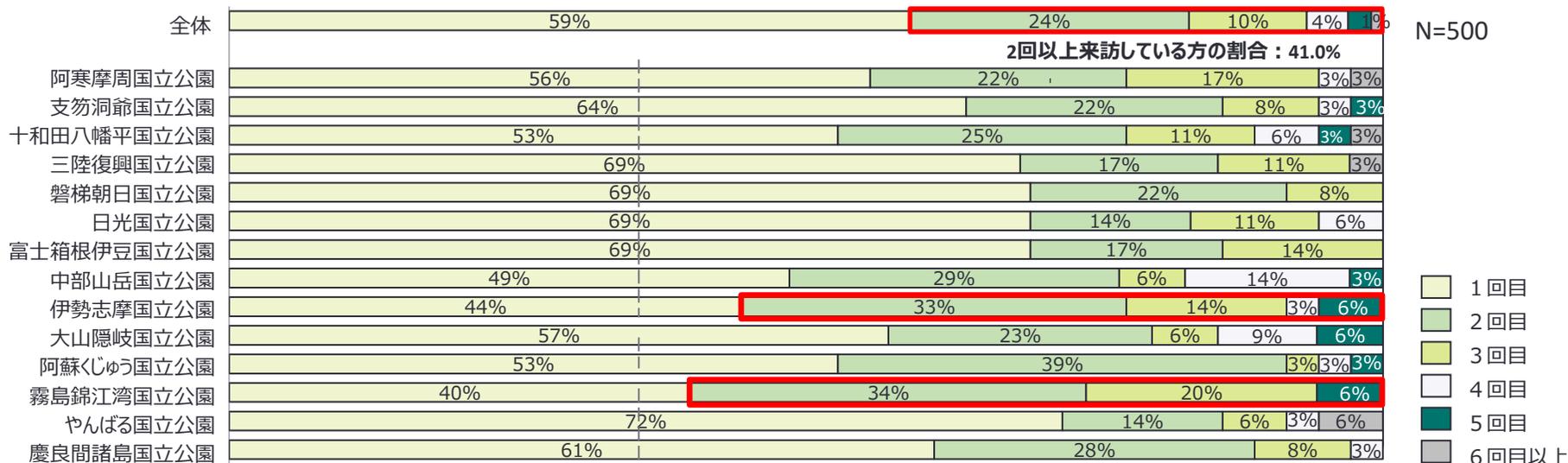
	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	3.1	2.2	3.0	2.8	2.7	2.9	2.6	2.8	2.8	2.6	2.5	2.9	2.5	2.5	2.8	2.7
2024	2.4	2.5	2.8	2.8	3.1	3.0	1.9	3.1	3.1	3.0	3.1	2.9	3.0	2.8	2.9	2.8
2023	0.6	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	-	0.3	0.4	0.4
2019	3.6	3.7	2.5	-	-	3.2	1.8	2.7	2.4	3.3	2.9	3.5	-	6.2	3.5	3.3
2018	3.8	3.5	3.0	-	-	2.8	2.7	2.8	2.1	4.0	2.9	3.2	-	5.9	3.5	3.3

※2018～2019年調査と2023年調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度。また、Web型へ移行している2023年以降においても、それぞれ設問内容が異なる点に留意が必要（2023年は自由記述式で調査。2024年以降は選択肢形式で調査）
 ※本設問は自由記述式ではなく選択肢形式としているため、各階級値を下記のように変換して平均値を計算している（日帰り→0泊、1泊→1泊、…（略）…5泊→5泊、それ以上→6泊）
 ※各公園 N=34～36（サンプル数が少ないため参考値として掲載）
 ※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

リピーター率

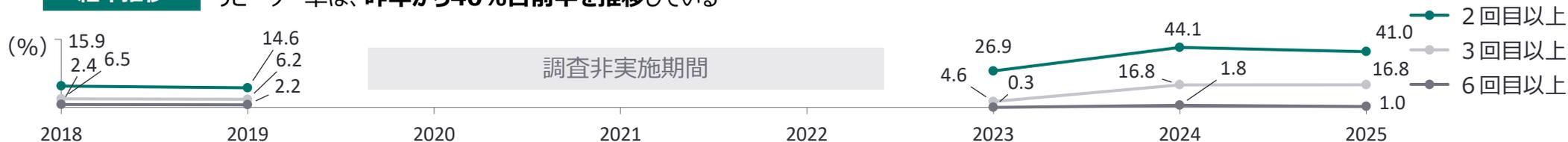
- 国立公園におけるリピーター率は、14公園平均で**41.0%**となった
- 公園別には霧島綿江湾が60.0%と高く、次いで伊勢志摩が55.6%となっている

2025年調査



経年推移

リピーター率は、昨年**40%台前半**を推移している



	阿寒摩周	支笏洞爺	十和田八幡平	三陸復興	磐梯朝日	日光	富士箱根伊豆	中部山岳	伊勢志摩	大山隠岐	阿蘇くじゅう	霧島錦江湾	やんばる	慶良間諸島	8公園平均	14公園平均
2025	44.4	36.1	47.2	31.4	30.6	30.6	30.6	51.4	55.6	42.9	47.2	60.0	27.8	38.9	45.8	41.0
2024	25.6	41.0	50.0	39.0	36.8	23.8	16.3	55.3	71.1	63.9	55.3	61.5	42.1	47.2	49.8	44.1
2023	32.5	35.0	37.7	40.7	26.9	30.4	20.4	35.9	18.4	25.9	13.2	18.9	-	22.7	25.0	26.9
2019	13.5	14.9	17.0	-	-	22.0	21.7	16.2	15.5	7.5	7.9	11.3	-	14.7	13.7	14.6
2018	14.9	11.9	15.7	-	-	17.8	40.4	14.7	14.5	9.5	12.2	8.4	-	15.4	13.6	15.9

※2018~2019年調査と2023年以降の調査ではそれぞれ調査方式が異なるため、経年比較は参考程度

※リピーター率：2回以上来訪している方の割合

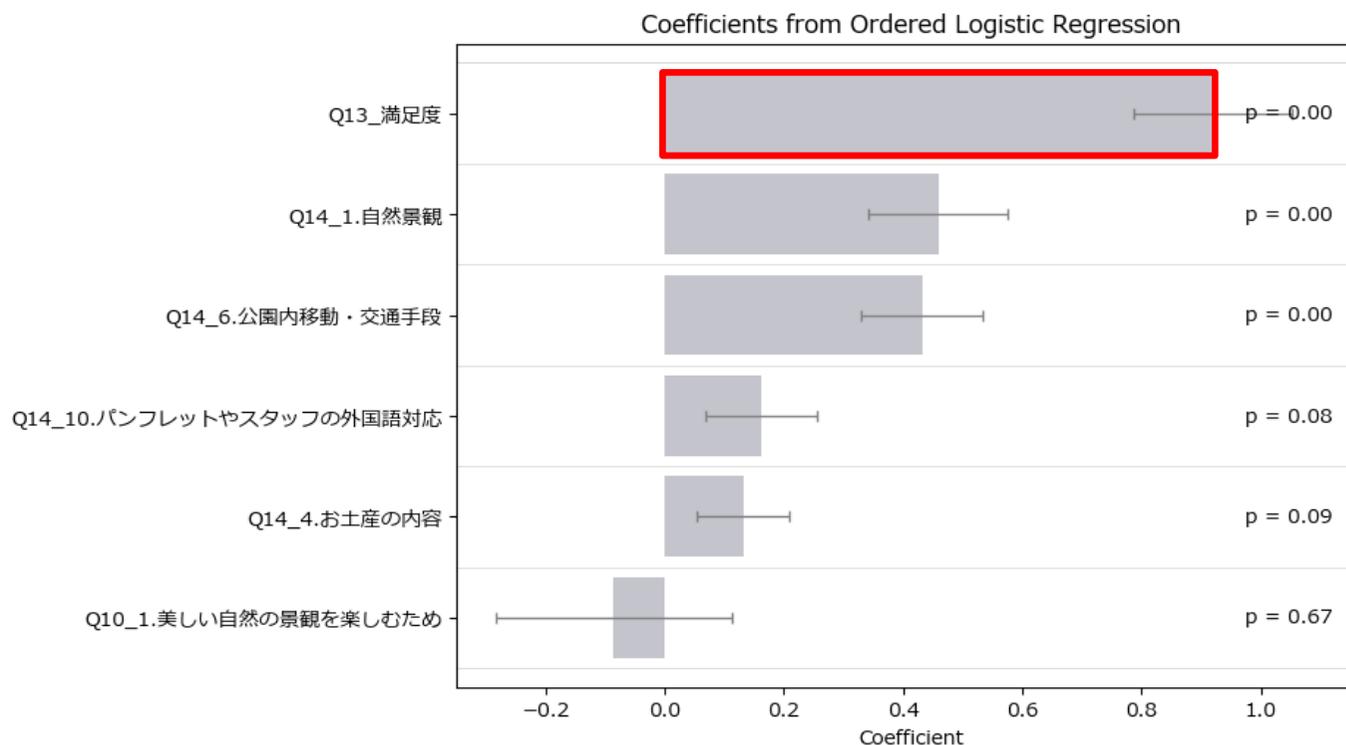
※各公園 N=34~36 (サンプル数が少ないため参考値として掲載)

※ページ下部表内のハイライト部分は、ページ上部で言及している箇所

回帰分析結果 推奨意向（順序ロジスティック回帰分析）

- 推奨意向は、順位尺度で評価しているため、順序ロジスティック回帰モデルを用いて分析
- 満足度が友人・知人への推奨意向に最も強い影響を与えている

「推奨意向」に対する各説明変数の回帰係数



補足)

- 回帰係数（横軸）は、各説明変数（縦軸）と推奨意向との関連の方向性および相対的な大きさを示している
- 図中では、横軸の0を基準に、右方向は正の影響、左方向は負の影響を示し、線の長さは影響の大きさを表している

※推奨意向は「必ず薦めたい～絶対薦めない」までの7段階で調査しているため、順序ロジスティック回帰分析を採用している

※説明変数には、公園毎に個別の内容を問う設問、及びQ13と回答傾向が重複する設問以外の、全設問項目を採用。その上で、前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は説明変数から除外している

※後退除去法（全説明変数を入れたモデルから統計的に有意でない変数を除外していく変数選択手法）により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）



回帰分析結果 滞在・宿泊日数（重回帰分析）

- 滞在・宿泊日数には、友人・知人への推奨意向が強く影響していることが示された
- 友人・知人への推奨意向が高い来訪者は、それ以外の方と比べて0.47日滞在日数が長い
- また、過去の訪問回数が多いほど、滞在・宿泊日数が長期化する傾向が認められる

「滞在・宿泊日数」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.87 自由度調整済決定係数：0.86

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q3.情報源：2.個人ブログ・SNS	0.46	0.14	3.34	0.00	0.19	0.73
Q3.情報源：3.地域・施設の公式サイト	0.44	0.15	3.00	0.00	0.15	0.72
Q3.情報源：6.旅行会社のパンフレット	0.42	0.15	2.81	0.01	0.13	0.71
Q3.情報源：7.TVメディアでの紹介	0.37	0.17	2.15	0.03	0.03	0.70
Q6.交通手段：4.タクシー	0.56	0.16	3.52	0.00	0.25	0.87
Q6.交通手段：8.鉄道・地下鉄	0.45	0.15	3.08	0.00	0.16	0.74
Q10.来訪目的：2.登山、ハイキング、キャンプ、ダイビング、カヌー、サイクリング等を行うため	0.35	0.15	2.26	0.02	0.05	0.65
Q10.来訪目的：8.滞在したい宿泊施設があるため	0.53	0.19	2.88	0.00	0.17	0.90
Q10.来訪目的：9.地域ならではの食事を楽しむため	0.35	0.15	2.34	0.02	0.06	0.65
Q14.重視する項目：4.お土産の内容	0.20	0.05	3.93	0.00	0.10	0.30
Q19.旅行したいと思う理由：10.仕事や学業へ活かせる学びやスキルの習得	0.67	0.27	2.48	0.01	0.14	1.20
Q1.訪問回数	0.36	0.07	5.33	0.00	0.23	0.49
Q12.一人当たり支出額	0.00	0.00	4.47	0.00	0.00	0.00
Q17.友人・知人への推奨意向	0.47	0.07	6.37	0.00	0.32	0.61

補足)

- 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、滞在・宿泊日数がどの程度増加するかを表す指標
- t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

※説明変数には、公園毎に個別の内容を問う設問、及びQ13と回答傾向が重複する設問以外の、全設問項目を採用。その上で、前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は説明変数から除外している

※後退除去法（全説明変数を入れたモデルから統計的に有意でない変数を除外していく変数選択手法）により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）



回帰分析結果 一人当たり支出額（重回帰分析）

- 一人当たり支出額は滞在・宿泊日数に最も影響され、1泊延びると支出が5,989円増加する
- また、「現地ツアー・プログラム」と一人当たり支出額には負の相関が認められる

「一人当たり支出額」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.46 自由度調整済決定係数：0.44

説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q2.同行者：1.一人旅	-16770.00	6982.03	-2.40	0.02	-30500.00	-3046.90
Q3.情報源：1.家族・友人等の紹介・推奨	10110.00	4675.87	2.16	0.03	925.94	19300.00
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	13910.00	5148.78	2.70	0.01	3789.33	24000.00
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	12620.00	5116.49	2.47	0.01	2571.80	22700.00
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやパック旅行）	16600.00	5578.55	2.98	0.00	5637.52	27600.00
Q4.旅行手配：4.旅行会社手配（ツアーメイトの受注型企画旅行）	15110.00	7166.84	2.11	0.04	1025.28	29200.00
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー	12770.00	5331.53	2.40	0.02	2292.46	23200.00
Q6.交通手段：9.路面電車・モノレール	21090.00	7675.25	2.75	0.01	6014.17	36200.00
Q10.来訪目的：2.アウトドア活動	11080.00	5348.28	2.07	0.04	574.59	21600.00
Q14.重視項目：5.現地ツアー・プログラム	-7067.43	1688.52	-4.19	0.00	-10400.00	-3749.78
Q7.滞在・宿泊日数	5988.79	1346.52	4.45	0.00	3343.12	8634.46

補足)

- 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、一人当たり支出額がどの程度増加するかを表す指標
- t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

※説明変数には、公園毎に個別の内容を問う設問、及びQ13と回答傾向が重複する設問以外の、全設問項目を採用。その上で、前述の相関分析により相関係数が0.1未満の項目は説明変数から除外している

※後退除去法（全説明変数を入れたモデルから統計的に有意でない変数を除外していく変数選択手法）により説明変数を絞り込んで回帰モデルを構築している（表中のp値が0.05以上の説明変数は統計的に有意ではない点に留意が必要）



回帰分析結果 訪問回数（重回帰分析）

- 訪問回数には、滞在・宿泊日数が強く関係している
- また、「旅行を個人手配（宿泊施設への直接予約を含む）」と正の相関が認められる

「訪問回数」に対する回帰分析結果

重相関係数：0.80 自由度調整済決定係数：0.79

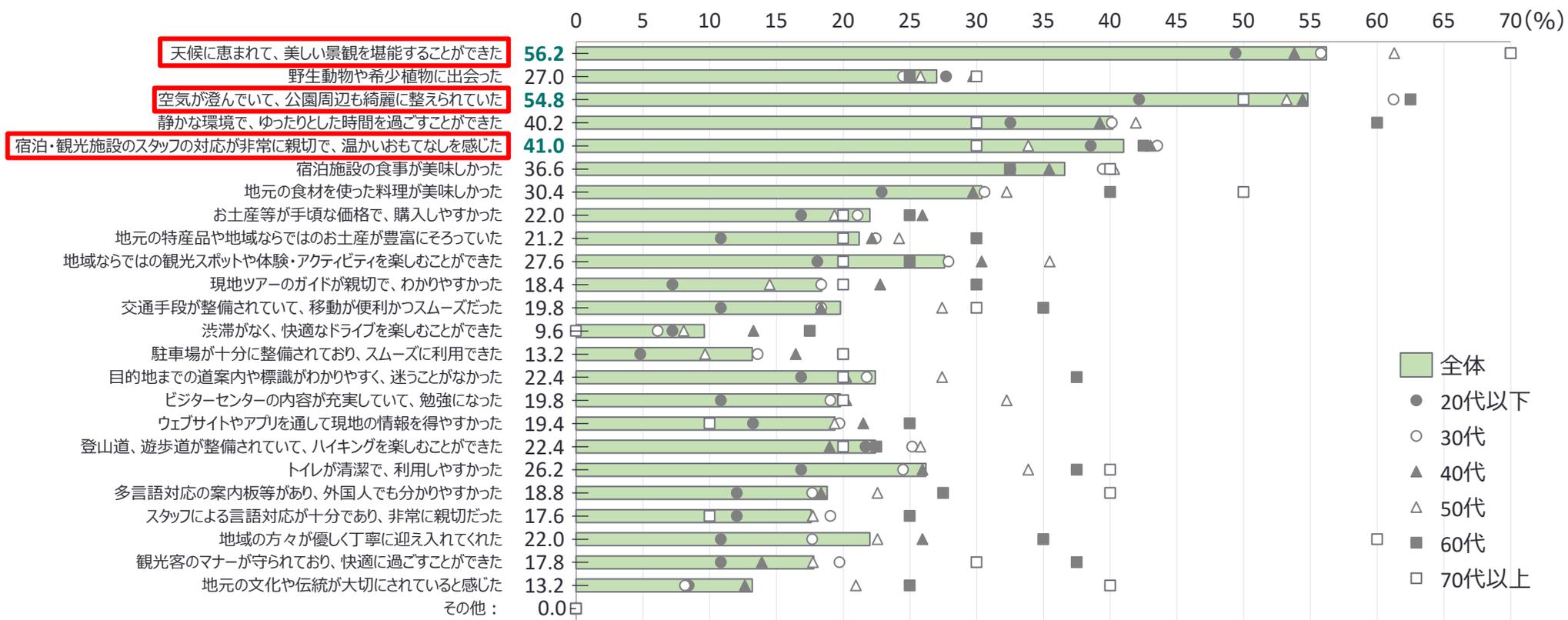
説明変数	回帰係数	標準誤差	t-値	P-値	下限 95%	上限 95%
Q2.同行者：3.家族旅行	0.23	0.09	2.66	0.01	0.06	0.41
Q3.情報源：1.家族・友人等の紹介・推奨	0.20	0.08	2.48	0.01	0.04	0.36
Q3.情報源：5.旅行雑誌・ガイドブック	0.24	0.09	2.54	0.01	0.05	0.42
Q3.情報源：6.旅行会社のパンフレット	0.20	0.09	2.24	0.03	0.02	0.37
Q4.旅行手配：1.個人手配（宿などへの直接予約）	0.39	0.09	4.28	0.00	0.21	0.57
Q4.旅行手配：2.個人手配（OTA（オンライン予約サイト）からの予約）	0.26	0.09	2.81	0.01	0.08	0.44
Q4.旅行手配：3.旅行会社手配（パッケージツアーやバック旅行）	0.37	0.10	3.73	0.00	0.18	0.57
Q6.交通手段：1.自家用車・レンタカー（マイカー規制による乗り換えなし）	0.31	0.09	3.36	0.00	0.13	0.50
Q6.交通手段：2.自家用車・レンタカー（マイカー規制による乗り換えあり）	0.24	0.10	2.37	0.02	0.04	0.44
Q6.交通手段：3.自転車（レンタル含む）	0.35	0.13	2.64	0.01	0.09	0.60
Q6.交通手段：4.タクシー	0.22	0.10	2.27	0.02	0.03	0.41
Q6.交通手段：5.ライドシェア	0.25	0.12	2.01	0.05	0.01	0.49
Q19.旅行したいと思う理由：3.非日常体験やエンターテイメント・アクティビティへの参加	0.20	0.09	2.23	0.03	0.02	0.37
Q7.滞在・宿泊日数	0.14	0.02	6.38	0.00	0.10	0.18

補足)

- 回帰係数は、説明変数が1単位増加した際に、訪問回数がどの程度増加するかを表す指標
- t-値は絶対値が2以上の場合に、統計的に有意と判断

特に満足したこと

- 特に満足したこととして、美しい景観を挙げた割合は全体で約56%に達している
- 次いで、豊かな自然環境や宿泊施設に対する満足度が高い傾向が認められる

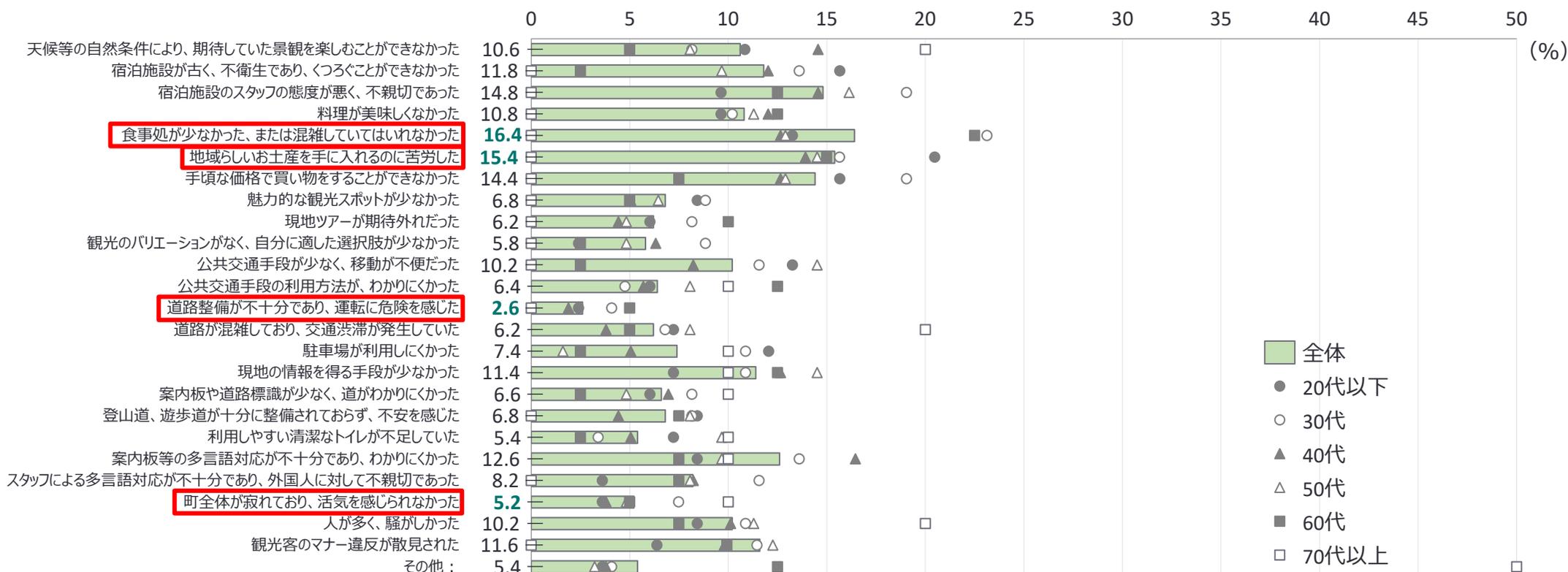


N=500

※回答は、自由記述式ではなく複数選択式（選択肢は、前年の自由記述式の結果を踏まえて作成）

改善要望

- 改善要望については、食事処の少なさや混雑具合、地域らしい土産物の入手困難性の項目の割合が高い傾向にある
- 一方で、道路整備や各交通主体の運転の安全性、町全体の活気等の項目は、比較的改善要望が低い傾向にある



N=500

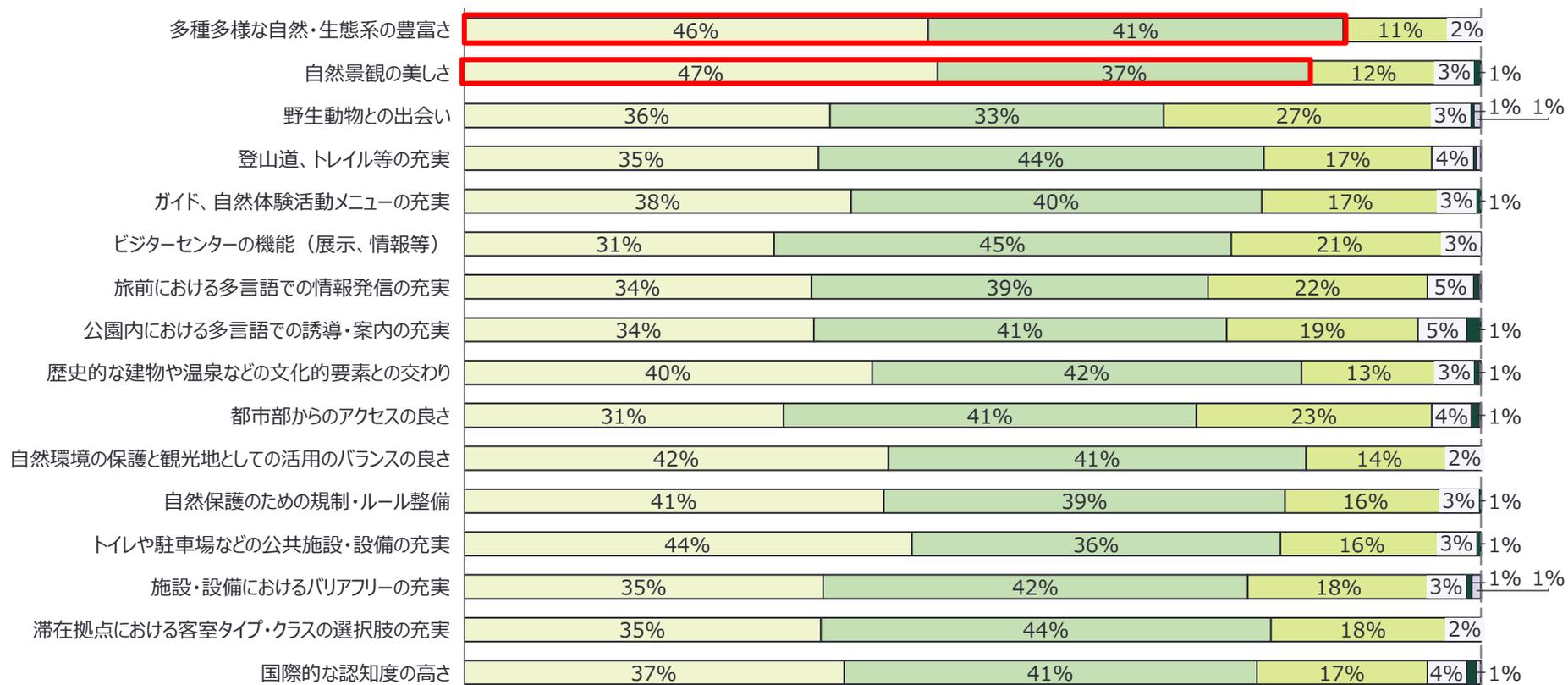
※回答は、自由記述式ではなく複数選択式（選択肢は、前年の自由記述式の結果を踏まえて作成）

日本の国立公園の課題

■ 海外の国立公園と比較した場合、日本の国立公園は自然景観の美しさや自然・生態系の豊富さ等において、「非常に良い」又は「どちらかといえば良い」と回答した割合が高い傾向にある

海外の国立公園と比較した際の、日本の国立公園の印象に関する調査結果

非常に良い
 どちらかといえば良い
 普通
 どちらかといえば悪い
 非常に悪い
 わからない



N=500

※海外各地域のいずれかの国立公園に対して、「来訪経験がある」と回答した方を対象として調査

[参考] 主要指標に係る回答者属性分析結果

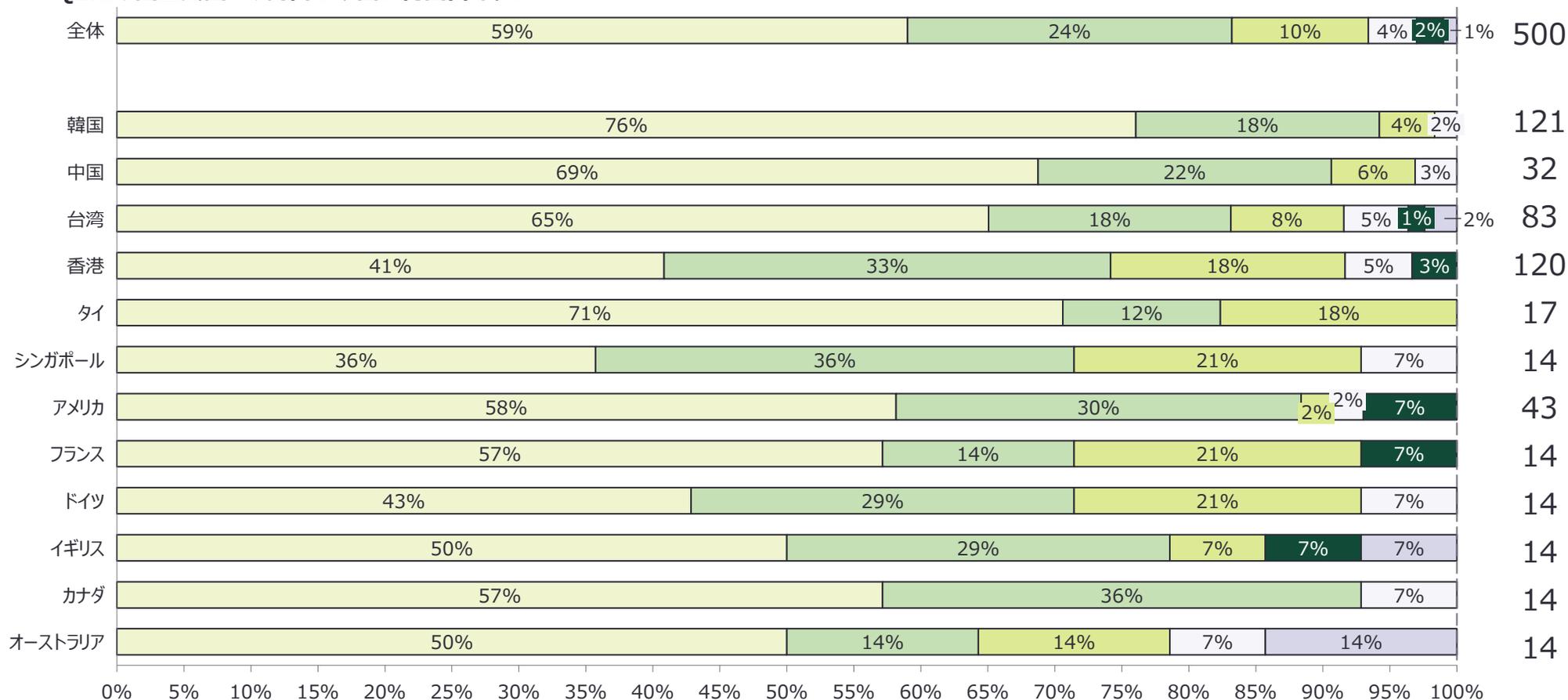
リピーター率×国籍

香港・シンガポールの来訪者は半数以上がリピーターであり、全体平均よりもリピーター率が高い



Q1.この国立公園への訪問は今回が何回目ですか

(回答者数)



※シンガポール・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ・オーストラリアにおいてはサンプル数が14と少ないため、参考程度

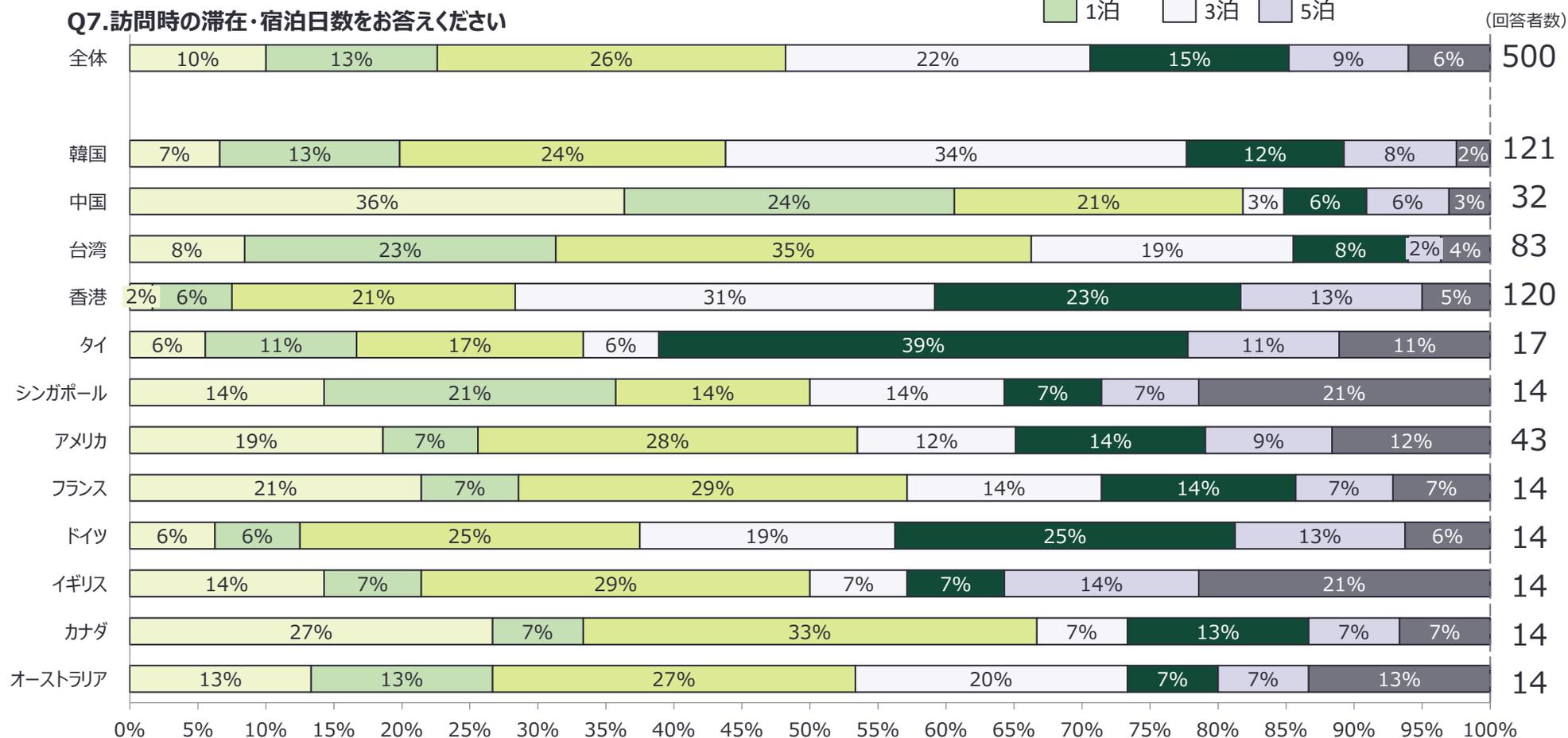
[参考] 主要指標に係る回答者属性分析結果

滞在・宿泊日数×国籍

シンガポール・イギリス・オーストラリア等からの来訪者は滞在・宿泊日数が長い傾向にある



Q7.訪問時の滞在・宿泊日数をお答えください



※シンガポール・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ・オーストラリアにおいてはサンプル数が14と少ないため、参考程度

[参考] 主要指標に係る回答者属性分析結果

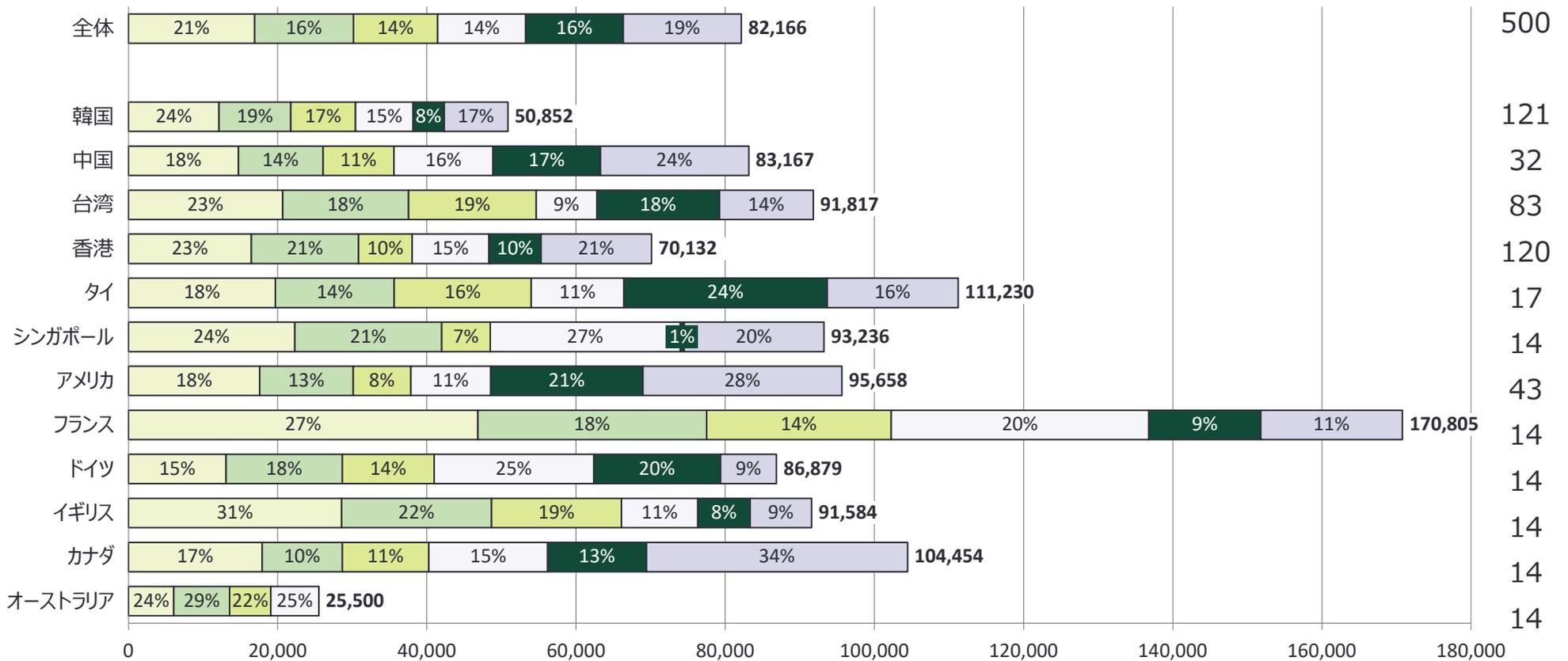
一人当たり支出額×国籍

フランス・タイ・カナダからの来訪者の支出額は高い一方、韓国やオーストラリアからの来訪者の支出額は比較的低い

- 公園内宿泊費
- 自然体験・アクティビティ費
- 公園内飲食費
- その他娯楽費
- 公園内交通費
- 公園内買い物代

Q12. 国立公園内の支出額として、最も近いものをお選びください

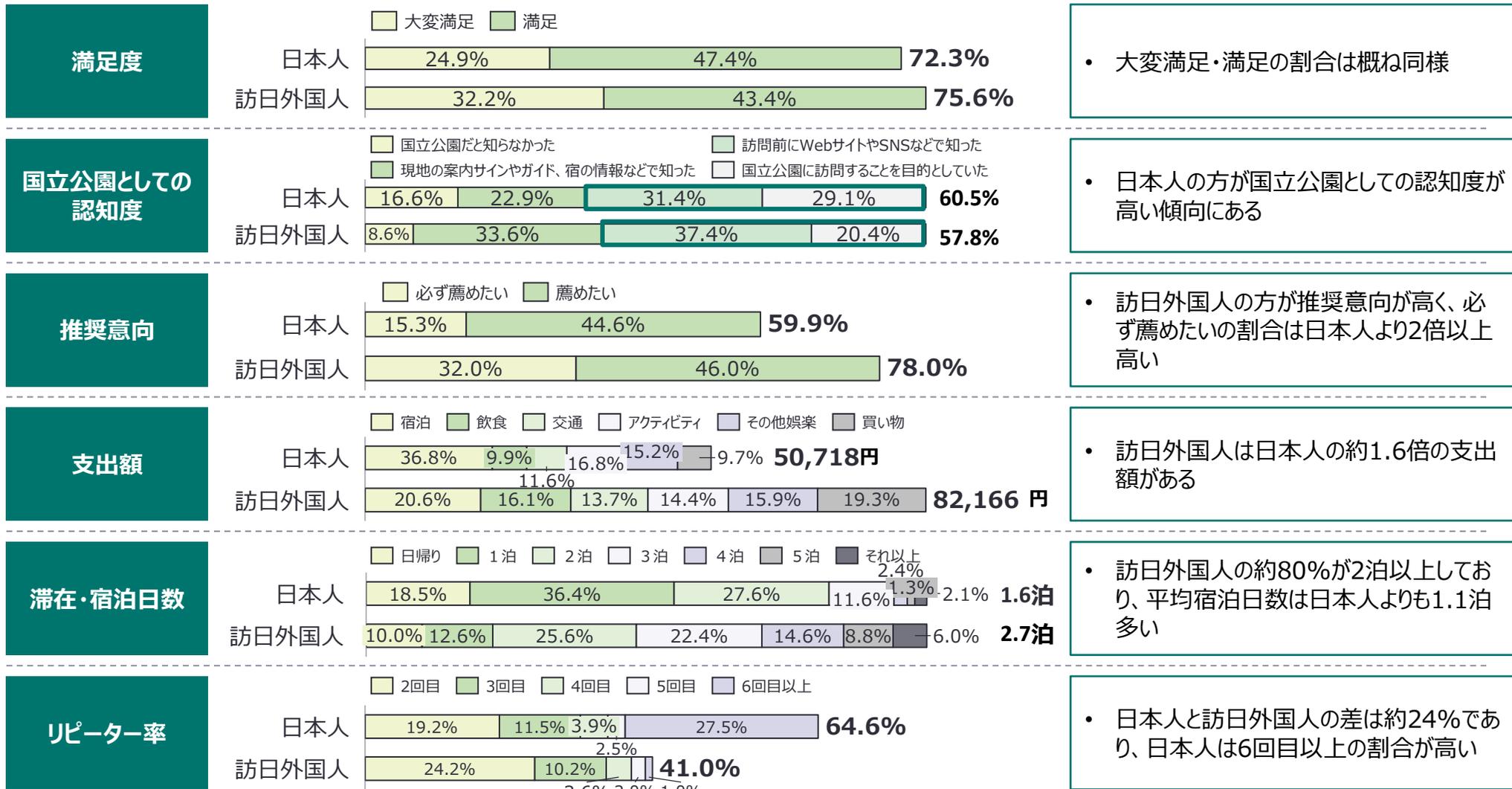
(回答者数)



※シンガポール・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ・オーストラリアにおいてはサンプル数が14と少ないため、参考程度

4. 日本人調査と訪日外国人調査の結果比較

主要指標の結果比較



各指標における上位公園の比較

	日本人向け調査		訪日外国人向け調査	
満足度	上位の公園	大変満足・満足	上位の公園	大変満足・満足
	霧島綿江湾国立公園	76.9%	慶良間諸島国立公園	88.9%
	阿寒摩周国立公園	76.4%	支笏洞爺国立公園	83.3%
	伊勢志摩国立公園	75.8%	日光国立公園	80.6%
国立公園としての認知度	上位の公園	訪問前に認知	上位の公園	訪問前に認知
	日光国立公園	69.7%	三陸復興国立公園	80.0%
	阿蘇くじゅう国立公園	66.4%	十和田八幡平国立公園	72.2%
	伊勢志摩国立公園	66.1%	富士箱根伊豆国立公園	69.4%
推奨意向	上位の公園	必ず薦めたい・薦めたい	上位の公園	必ず薦めたい・薦めたい
	慶良間諸島国立公園	68.9%	富士箱根伊豆国立公園	86.1%
	阿寒摩周国立公園	63.6%	伊勢志摩国立公園	83.3%
	阿蘇くじゅう国立公園	63.6%	慶良間諸島国立公園	83.3%
支出額	上位の公園	一人当たり支出額	上位の公園	一人当たり支出額
	慶良間諸島国立公園	¥92,766	中部山岳国立公園	¥130,662
	十和田八幡平国立公園	¥54,299	日光国立公園	¥121,037
	やんばる国立公園	¥51,255	富士箱根伊豆国立公園	¥108,057
滞在・宿泊日数	上位の公園	平均宿泊日数	上位の公園	平均宿泊日数
	やんばる国立公園	2.3泊	阿寒摩周国立公園	3.1泊
	慶良間諸島国立公園	2.2泊	十和田八幡平国立公園	3.0泊
	阿寒摩周国立公園	1.9泊	霧島綿江湾国立公園	2.9泊
リピーター率	上位の公園	2回目以上	上位の公園	2回目以上
	富士箱根伊豆国立公園	77.2%	霧島綿江湾国立公園	60.0%
	中部山岳国立公園	71.9%	伊勢志摩国立公園	55.6%
	日光国立公園	71.7%	中部山岳国立公園	51.4%